

令和 7 年度 長浜市教育行政方針

長浜市教育委員会

目 次

1 所属別重点目標	4
2 教育振興基本計画実施プラン	
教育振興基本計画体系図	13
指標一覧	15
基本目標 1	
乳幼児期における就学前教育を充実します	19
基本目標 2	
子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します	24
基本目標 3	
学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします	39
基本目標 4	
地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てます	46
基本目標 5	
市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります	48
基本目標 6	
安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します	57

<教育行政方針とは>

長浜市の教育振興を図るために定める基本的な計画として策定した、「第3期長浜市教育振興基本計画」を確実に推進していくため、教育委員会が年度ごとに示す教育行政の重点施策であり、教育委員会会議の議決を経て決定されるものです。

1 所属別重点目標

教育総務課

基本目標（教育大綱）	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	47	誰もが安心して学べる学校・園施設等の整備
重点目標	長浜市学校施設等長寿命化計画に基づき、老朽度が高い学校施設の長寿命化改修工事や、教育環境の充実のため、照明のLED化や空調設備の改修を実施します。	
（現状と課題）		
市内の学校施設等の約4分の1が建築後40年を経過しており、長浜市学校施設等長寿命化計画に基づき施設の老朽化への対応を進めている。一方で子どもの人口減少が進んでおり、学校園の適正規模・適正配置の方針や財政状況を踏まえ、長寿命化計画の見直しを図り、将来を見据えた計画的な環境整備を実施する必要があります。		
（主な取組内容）		
・適正規模・適正配置の方針を踏まえながら、学校施設の老朽部分の改修や機能を向上させる長寿命化改修工事を実施します。		
・子どもたちの快適な教育環境を保障するため、照明のLED化や空調設備の改修を行います。		

教育改革推進課

基本目標（教育大綱）	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3	確かな学力の育成
具体的な施策		
重点目標	誰一人取り残さない長浜の教育の実現を図るため、すべての子どもたちが「真の学力」を身につける取組を推進します。	
（現状と課題）		
子どもを主語にした授業づくり（授業改善）や特別活動等の推進により、学び続けようとする意欲や豊かな創造性、様々な人と協働しながら問題発見・解決に挑む資質・能力を育む「新しい長浜の教育」を推進する必要があります。		
（主な取組内容）		
・学力向上専門プロジェクトチーム会議を開催し、専門的な視点から幅広い助言、意見を聴取し、授業改善や教育データベースの活用など教育施策に反映させます。 ・「『真の学力』向上を目指すロードマップ～誰一人取り残さない長浜の教育の実現～Ver.2.1」に基づき、その具現化を図るとともに、この取組の検証を行い、今後の学力向上策につなげます。		

令和7年度 所属別重点目標

基本目標（教育大綱）	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3	確かな学力の育成
具体的な施策	15	教育の情報化の推進
重点目標	ＩＣＴ機器を効果的に活用し、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現します。	
（現状と課題）		
1人1台端末を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて市全体で授業改善に取り組んでいる。併せて、校務支援システム等を用いた校務のＤＸ化についても進めている。課題として、一定の学校間格差、教員間格差が見られ、その縮小に向けてＩＣＴ支援員の活用等を一層進めていく必要があります。		
（主な取組内容）		
1人1台端末をはじめとしたＩＣＴ機器を効果的に活用し、児童生徒主体の授業への質的転換を進めるとともに、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図る。校務支援システムやデジタル採点システム等の運用を推進し、より一層の校務のＤＸ化を進めます。		

基本目標（教育大綱）	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	51	学校適正配置の協議・取組の推進
重点目標	子どもたちにとってよりよい教育環境づくり、魅力ある将来の学校づくりの視点から、学校園の適正規模・適正配置及び小中一貫教育の推進を図ります。	
（現状と課題）		
園児・児童・生徒数の減少に伴い学校園の小規模化が進み、学校園間で保育・教育の質や水準に格差が生じる可能性があります。		
（主な取組内容）		
・長浜市学校園の適正規模・適正配置検討委員会の意見を生かして、長浜市学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針を策定します。 ・学校再編に向けて取り組んでいる地域については、保護者や地域の方との連携を重視して準備を進めます。		

教育指導課

基本目標（教育大綱）	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2	一人ひとりを大切にする教育の推進
具体的な施策	6	きめ細かな指導の充実と学習方法の工夫改善
重点目標	基礎的・基本的な知識・技能の定着に向け、指導の充実を図ります。 自己肯定感の感受を促進し、豊かな人間性と共感的人間関係の育成を図ります。 中学校区を単位とした保幼小中義務教育学校間の連携・接続を推進します。	
（現状と課題）		
全国学力・学習状況調査等の結果から、中学校（義務教育学校後期課程含む）では全国平均との差は縮まったものの、小学校（義務教育学校前期課程含む）・中学校ともに全国平均には届いていない。質問紙の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をした児童生徒は、小学校は全国平均より高く、中学校は昨年度より7.4ポイント上昇しています。		
（主な取組内容）		
・長浜スタイル「子どもが自ら学ぼうとする授業」による授業改善に継続的に取り組む。また授業改善について学ぶ機会を増やします。 ・「学びに向かう力」育成の取組を充実する。また、自己存在感の感受を促進する機会や場の充実を図ります。 ・保幼小中の縦の接続を意識し連携を深めるとともに、系統的な取組を行うことで「生きる力」の育成を図ります。		

基本目標（教育大綱）	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2	一人ひとりを大切にする教育の推進
具体的な施策	7	いじめ防止対策の総合的な推進
重点目標	子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、「長浜市いじめ防止等の基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応のための対策を総合的に推進します。	
（現状と課題）		
令和元年度以降、いじめの認知報告数は横ばい傾向であるが、コロナ禍以降、急速に普及したスマホやタブレットなどの情報端末によるいじめ事案の報告が増加している。未然防止の取組みと併せて、早期発見、早期対応の学校体制づくりが必要です。		
（主な取組内容）		
・「長浜市いじめ防止等の基本方針」や各校作成の「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止と早期発見、早期対応のため、学校支援体制をより一層強化します。 ・SCやSSW、弁護士、精神科等、専門家に相談する機会を設け、学校や児童生徒支援を行います。		

令和7年度 所属別重点目標

基本目標（教育大綱）	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2	一人ひとりを大切にする教育の推進
具体的な施策	8	特別支援教育の推進
重点目標	特別な支援を必要とする子どもの教育的ニーズに応じた「個別の指導計画」および「個別の教育支援計画」の内容の充実と効果的な活用を行います。	
（現状と課題）		
特別な支援を必要とする児童生徒に対して、合理的配慮を講じつつ、「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」の充実を図るとともに、効果的な活用の在り方を模索する必要があります。		
（主な取組内容）		
学校園相談事業や学校間の引継ぎ、特別支援教育に係る会議等の資料として「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を活用するとともに、保護者・本人と作成・共有することにより指導・支援の充実を図ります。		

基本目標（教育大綱）	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	5	健やかな体の育成
具体的な施策	21	体力の向上と健康の保持増進
重点目標	・少子化の中でも子どもたちが将来にわたり部活動(または地域における文化・スポーツ活動)を継続して取り組むことができる環境づくりを推進します。 ・子どもの体力向上を図る取組を推進します。	
(現状と課題)		
・教員に代わる指導者、部活動に代わる受皿になり得る地域の団体の不足という状況で、部活動を地域展開していくことは非常に課題が多い。 ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、本市の児童の体力（新体力テストの結果）が全国平均と比較して劣っています。		
(主な取組内容)		
・コーディネーターを配置し、各校への聞き取り調査等を行うとともに、外部指導者を配置し、地域連携をより一層推進します。 ・本市の実情に応じた地域展開（地域連携）推進計画を策定します。 ・本市の児童の体力で全国と比べ劣っている要素のうち「柔軟性」に絞って取組を推進し、体力の向上を目指します。		

基本目標（教育大綱）	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	50	教職員の働き方改革の推進
重点目標	授業時数の適正化と業務のデジタル化を推進します。 積極的な人的配置等を行い、教職員の超過勤務時間の削減を図ります。	
（現状と課題）		
DXの推進により業務改善を図っているが、特に年度初めや学期末に書類の作成や成績処理等の業務が集中するため、多くの時間を要します。また、関係機関や保護者との連絡・調整に多くの時間を費やすため、煩雑な業務の精査を行うこと、教職員一人ひとりのタイムマネジメント力をつける必要があります。		
（主な取組内容）		
「学校における働き方改革」ロードマップを作成し、計画に基づき、具体的な施策を行います。（授業時数の適正化、業務のデジタル化、積極的な人的配置、職員の意識改革を図る研修会の実施等）		

教育指導課
(教育センター)

基本目標（教育大綱）	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2	一人ひとりを大切にする教育の推進
具体的な施策	9	多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援
重点目標	専門家や関係機関と連携し、不登校や発達に関する教育相談・コンサルテーションを丁寧に行う。こどもサポートルームなどいにおいて、学びの場を確保し、個に応じた指導・支援を充実させ、児童生徒の学校復帰や社会的自立を目指します。	
（現状と課題）		
不登校の児童生徒は年々増加しており、多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援ニーズは高まっている。また、発達に課題のある児童生徒について、保護者からの相談や検査依頼も増加している。個に応じた支援・指導をより充実させるために、学校・家庭・関係機関との密な連携が必要です。		
（主な取組内容）		
・保護者や学校の相談依頼に対して、カウンセラーや心理判定員・相談員・専門家による教育相談や指導支援を行います。 ・不登校児童生徒に対する指導支援の場として、こどもサポートルームなどいを運営します。 ・社会的自立に向けて、医療や福祉、NPO、フリースクール等の外部機関との連携を図ります。		

基本目標（教育大綱）	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します。
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	49	教職員研修の充実
重点目標	学校現場で主体的な研修を推進・支援していく。また、授業力、指導力、マネジメント能力等、今求められている「教師力」を向上させる研修の充実を目指します。	
（現状と課題）		
教職員の研修参加人数は増加傾向にある。多様な学びを提供すべく、集合研修やオンライン研修、オンデマンド研修、アウトリーチ研修などを実施してきた。今後はさらにICTの効果的な活用を促進し、より探究的な研修を提供することにより、教職員の資質向上や学校組織の改善に取り組むことが求められます。		
（主な取組内容）		
・ 教職員の資質・指導力を高めるため、専門的視野を取り入れた多様な研修を提供します。 ・ 学び続ける教職員の育成を目指し、新たな視点を得たり、充実した内容であったと感じられる質の高い研修の提供を目指します。		

学校給食課

基本目標（教育大綱）	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	5	健やかな体の育成
具体的な施策	22	食育の推進
重点目標	子どもたちが「食」に関する正しい知識を身につけ、自分自身の健全な食生活について考えることができる力を育みます。	
（現状と課題）		
学校・園給食の食べ残し等によるフードロスやアレルギー対応の必要な子どもたちが増加傾向にある。物価高騰による賄材料費への影響に対応する必要があります。		
（主な取組内容）		
子どもたちが正しい「食」の知識を身につけることができるよう、学校・園給食を通じた食育の充実を図るとともに、安全・安心な学校・園給食を安定して提供できるよう、学校給食センターの適切な運用を図る。また、給食材料費の高騰が続いているが、引き続き給食の質や量の維持に努めます。		

幼児課

教育大綱（基本目標）	1	乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	1	生きる力の基礎を培う就学前教育の充実
具体的な施策	5	就学前教育から小学校教育への円滑な接続の推進
重点目標	接続期の発達や学びの理解を深め、円滑な接続のための連続性を踏まえた指導や交流の充実・推進を図ります。	
（現状と課題）		
・園小中接続協議会・園小接続研修会・園小接続カリキュラム検討会を実施し、中学校区ごとに子どもの姿の共有や連携を進め、園小接続カリキュラムの作成を行いました。 ・保育者と教員が、園小接続期の子どもの姿について理解を深め、連携を継続させていく必要があります。		
（主な取組内容）		
・子どもの学びの連続性について理解を深め、保育・教育の相互理解を図ります。 ・中学校区ごとに子ども・職員の交流・連携を深めます。 ・学区の子どもの実態に沿った連携を継続します。		

教育大綱（基本目標）	3	学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	7	子育て支援体制の充実
具体的な施策	27	保育サービスの充実
重点目標	保育人材を確保することで待機児童の解消を図ります。	
（現状と課題）		
低年齢児層の待機児童が発生しており、入所希望児童の低年齢化や長時間保育により、必要保育士数の増加が見込まれます。		
（主な取組内容）		
・保育人材確保のため、支援制度（奨学金返還支援、居住支援）を継続します。 ・潜在保育士や、保育の仕事に興味を持つ人を保育補助として就労につなげる等の就労支援を行います。 ・保育士等採用試験受験者の増加を図るため、保育者養成校との連携強化に取り組みます。		

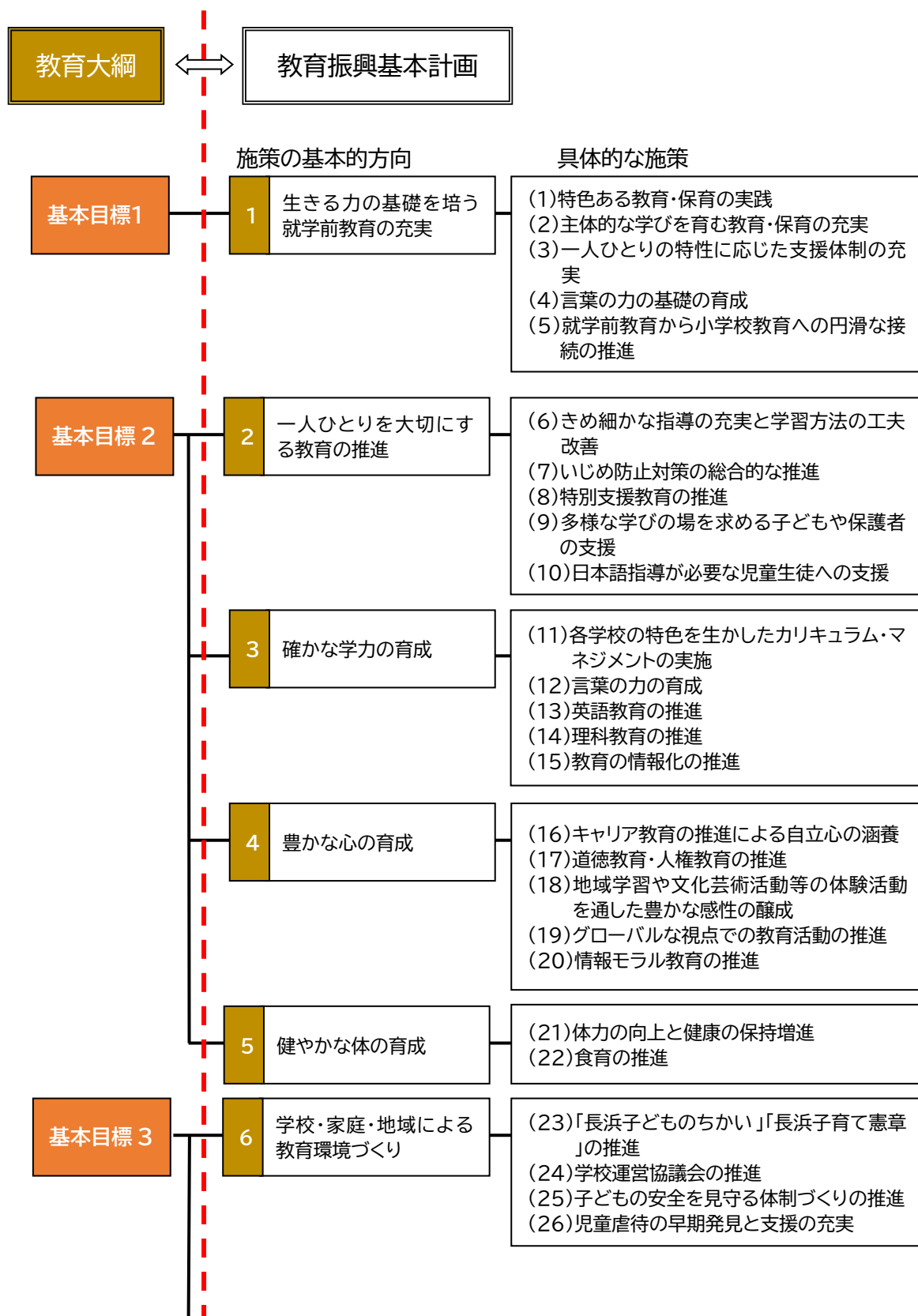
生涯学習課

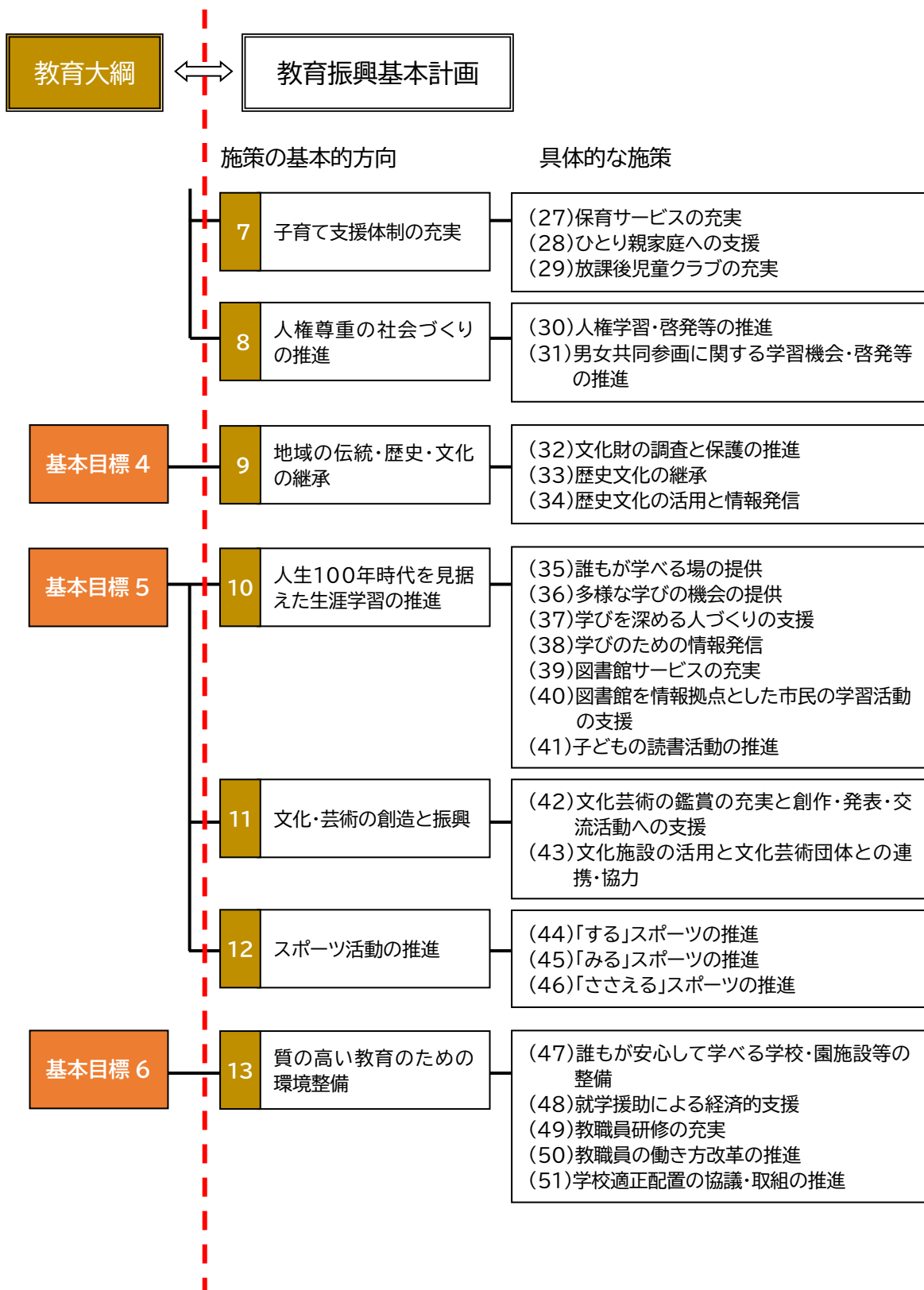
教育大綱（基本目標）	5	市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
具体的な施策	37	学びを深める人づくりの支援
重点目標	子どもの学びを軸に、ゆるやかなつながりによる地域コミュニティの促進を図り、学校や地域、多様な主体との連携・協働により地域全体で子どもの「生きる力」を育みます。	
（現状と課題）		
地域と学校の連携・協働の仕組みと体制づくりを進めるための実証事業を1地域で実施。教育委員会との連携を密にしながら、本市の実情に応じた仕組みと体制づくりを進めていく必要があります。		
（主な取組内容）		
生涯学習社会づくり基本方針（令和5年3月策定）に基づき、学校や地域の連携・協働による子どもの生きる力を地域で育む生涯学習を推進します。		

教育大綱（基本目標）	5	市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります。
施策の基本的方向	10	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
具体的な施策	39	図書館サービスの充実
重点目標	市民の役に立ち、誰もが利用でき信頼を寄せる図書館をめざし、サービスの充実に取り組みます。	
（現状と課題）		
一人でも多くの市民に図書館の資料や情報が活用され、図書館を身近に感じてもらえるサービスの充実を図る必要があります。		
（主な取組内容）		
長浜市図書館基本計画（第2期）に基づいて、生活に密着したサービスをきめ細かく提供しながら、より多くの市民に図書館を身近に感じてもらえるサービスの充実を図ります。		

2 教育振興基本計画 実施プラン

教育振興基本計画体系図





教育大綱		1 乳幼児期における就学前教育を充実します							
施策の基本的方向		1 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実							
具体的な施策		担当課	計画策定時	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績見込み	R7年度 目標	R7年度 計画目標値
★（1）特色ある教育・保育の実践									
1	園の教育課程及び指導計画に、特色ある保育内容を取り入れている割合	幼児課	50.0%	55.0%	55.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
★（2）主体的な学びを育む教育・保育の充実									
2	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実感した割合（保護者アンケート）	幼児課	—	69.9%	91.2%	89.4%	89.0%	70.0%	70.0%
★（3）一人ひとりの特性に応じた支援体制の充実									
3	特別支援教育士資格の取得者数	幼児課	1人	取得者1人 受講者2人	取得者1人 受講者4人	3人	3人	5人	5人
★（4）言葉の力の基礎の育成									
4	家庭において、乳幼児に週2日以上読み聞かせを実施している割合	幼児課	—	50.0%	61.0%	64.0%	66.0%	90.0%	90.0%
★（5）就学前教育から小学校教育への円滑な接続の推進									
5	アプローチ・スタートカリキュラムをテーマにした園小連携及び研究会の実施校区の数	幼児課	1小学校区 25小学校区中	4小学校区 25小学校区中	4小学校区 25小学校区中	25小学校区 25小学校区中	25小学校区 25小学校区中	25小学校区 25小学校区中	25小学校区 25小学校区中

教育大綱		2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します							
施策の基本的方向		2 一人ひとりを大切にする教育の推進							
具体的な施策		担当課	計画策定時	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績見込み	R7年度 目標	R7年度 計画目標値
★（7）いじめ防止対策の総合的な推進									
6	いじめと認知され、対応することができた件数	教育指導課	小学校192件	小学校178件	小学校156件	小学校223件	小学校320件	小学校330件	前年比増
7			中学校75件	中学校67件	中学校60件	中学校68件	中学校100件	中学校110件	前年比増
8	いじめの解消率	教育指導課	小学校78.0%	小学校86.0%	小学校72.4%	小学校71.3%	小学校74.0%	小学校100.0%	小学校100.0%
9			中学校84.0%	中学校89.6%	中学校65.0%	中学校70.6%	中学校76.0%	中学校100.0%	中学校100.0%
★（8）特別支援教育の推進									
10	通常学級に在籍している児童生徒のうち、支援が必要と考えられる者で、「個別の指導計画」が学校で作成されている割合	教育指導課	93.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
11	特別支援学級に籍児児童生徒及び通級による指導を受ける児童生徒の「個別の教育支援計画」を作成する割合	教育指導課	—	100.0%	100.0%	96.4%	100.0%	100.0%	100.0%
12	特別支援学校教諭免許状の取得者数	教育指導課	69人	83人	92人	89人	96人	100人	前年比増
★（9）多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援									
13	多様な学びの場を求める子どもが学校以外の場で学ぶことにより出席認定された数	教育指導課 (教育センター)	13人	19人	31人	54人	53人	60人	前年比増

教育大綱		2.子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します							
施策の基本的方向		3.確かな学力の育成							
具体的な施策		担当課	計画策定時	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績見込み	R7年度 目標	R7年度 計画目標値
★（11）各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施									
14	全国学力学習状況調査・国語の正答率と本市正答率との比較（全国学力・学習状況調査）	教育指導課	小 -2.8%	小 -5.7%	小 -5.6%	小 -1.2%	小 -3.7%	小 -0.3%	前年度比 +0.5%
15			中 -2.8%	中 -1.6%	中 -1.0%	中 -5.8%	中 -3.1%	中 -0.3%	
16	全国学力学習状況調査・算数(数学)の正答率と本市正答率との比較（全国学力・学習状況調査）	教育指導課	小 -1.6%	小 -3.2%	小 -4.2%	小 -2.5%	小 -3.4%	小 0.9%	前年度比 +0.5%
17			中 -0.8%	中 -0.2%	中 0.6%	中 -4.0%	中 -1.5%	中 1.7%	
★（13）英語教育の推進									
18	CEFR（セファール）A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生生徒の割合	教育指導課	38.5%	39.2%	45.9%	46.1%	53.1%	55.0%	50.0%
★（15）教育の情報化の推進									
19	授業にICTを活用して「資料・意見等の提示」、「学習用ソフトウェアを活用した協働的な学習」ができたと答えた教員の割合（学校における教育の情報化の実態等に関する調査）	教育改革推進課	53.7%	73.1%	79.9%	86.5%	86.5%	100.0%	100.0%

教育大綱		2.子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します							
施策の基本的方向		4.豊かな心の育成							
具体的な施策		担当課	計画策定時	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績見込み	R7年度 目標	R7年度 計画目標値
★（16）キャリア教育の推進による自立心の涵養									
20	「職場体験で自分の良さや適性等を発見したり、確認したりできた」と答えた割合（中学生チャレンジウィーク事後アンケート）	教育指導課	89.0%	事業実施なし	100.0%	93.1%	87.5%	95.0%	95.0%
★（17）道徳教育・人権教育の推進									
21	「自分には、よいところがある」と答えた割合（全国学力・学習状況調査）	教育指導課	小 81.6%	小 76.5%	小 77.8%	小 85.9%	小 84.4%	小 87.0%	小 87.0%
22			中 76.2%	中 77.9%	中 75.9%	中 73.6%	中 81.0%	中 82.0%	中 82.0%
★（18）地域学習や文化芸術活動等の体験活動を通じた豊かな感性の醸成									
23	「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた割合（全国学力・学習状況調査）	教育指導課	小 83.3%	小 79.0%	小 72.2%	小 77.4%	調査項目なし	小 88.0%	小 88.0%
24			中 67.5%	中 57.7%	中 56.8%	中 48.7%	調査項目なし	中 72.0%	中 72.0%
★（19）グローバルな視点での教育活動の推進									
25	「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたしてみたい」と答えた割合（全国学力・学習状況調査）	教育指導課	小 66.9%	調査項目なし	調査項目なし	調査項目なし	調査項目なし	小 72.0%	小 72.0%
26			中 58.7%	調査項目なし	調査項目なし	調査項目なし	調査項目なし	中 64.0%	中 64.0%
★（20）情報モラル教育の推進									
27	情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身につけさせるための研修会や授業を行った学校の割合	教育指導課	—	小 100.0%	小 100.0%	小 100.0%	小 100.0%	小 100.0%	小中学校ともに
28			中 100.0%	中 100.0%	中 100.0%	中 100.0%	中 100.0%	中 100.0%	100.0%

教育大綱	2.子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します								
施策の基本的方向	5.健やかな体の育成								
具体的な施策		担当課	計画策定時	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績見込み	R7年度 目標	R7年度 計画目標値
★(21) 体力の向上と健康の保持増進									
29	新体力テストの体力合計得点 ・小学5年生	教育指導課	男子 50.99点	男子 50.71点	男子 50.28点	男子 50.00点	男子 51.38点	男子 55.00点	小中学校ともに
30			女子 52.81点	女子 52.03点	女子 51.59点	女子 50.72点	女子 51.75点	女子 55.00点	55.00点
31			男子 41.86点	男子 41.68点	男子 39.27点	男子 41.94点	男子 43.32点	男子 43.00点	男子 43.00点
32			女子 48.32点	女子 48.47点	女子 44.54点	女子 45.55点	女子 47.54点	女子 50.00点	女子 50.00点
★(22) 食育の推進									
33	バランスのとれた食事をすることは大切だと思 っている児童・生徒の割合（食育アンケー ト）	学校給食課	—	小5 98.2%	小5 98.4%	小5 98.0%	小5 98.5%	小5 100.0%	小中学校ともに
34				中2 99.2%	中2 98.5%	中2 97.7%	中2 96.4%	中2 100.0%	100.0%
35	朝食を毎日食べる児童・生徒の割合（食育アン ケート）	学校給食課	小5 90.6%	小5 89.6%	小5 89.2%	小5 90.6%	小5 91.2%	小5 93.0%	小5 93.0%
36			中2 86.1%	中2 85.7%	中2 82.3%	中2 84.0%	中2 80.7%	中2 86.0%	中2 86.0%

教育大綱	3.学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします								
施策の基本的方向	6.学校・家庭・地域による教育環境づくり								
具体的な施策	担当課	計画策定時	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績見込み	R7年度 目標	R7年度 計画目標値	
★(23)「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」の推進									
37	「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」の 保護者・地域・各団体への周知、啓発回数	教育改革推進課	91回	117回	90回	103回	155回	100回	100回
★(24)学校運営協議会の推進									
38	地域とともに進めるよりよい学校づくり満足度 (長浜市民満足度調査)	教育指導課	3.39点	3.24点	3.12点	3.18点	3.15点	3.50点	3.50点
★(25)子どもの安全を見守る体制づくりの推進									
39	スクールガードについて、次のいずれかを充足 した小学校数 ・スクールガード登録率 (登録者数/児童数)25%以上 ・通学距離・危険箇所での必要人数率 (登録者数/必要数)100%以上	教育指導課	22校 (25小学校中)	21校 (25小学校中)	20校 (25小学校中)	19校 (25小学校中)	18校 (25小学校中)	25校 (25小学校中)	25校 (25小学校中)
(26)児童虐待の早期発見と支援の充実									
①	児童虐待に関する啓発回数	こども家庭支援課	9回	9回	10回	14回	17回	15回	15回

教育大綱	3.学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします								
施策の基本的方向	7.子育て支援体制の充実								
具体的な施策	担当課	計画策定時	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績見込み	R7年度 目標	R7年度 計画目標値	
★(27) 保育サービスの充実									
40	保育所・認定こども園(長時部)の待機児童数	幼児課	35人	13人	5人	5人	11人	0人	0人
(28) ひとり親家庭への支援									
②	ひとり親家庭の相談件数	こども家庭支援課	2,122件	2,354件	2,321件	2,291件	2,500件	2,500件	2,500件
(29) 放課後児童クラブの充実									
③	放課後児童クラブの待機児童数	こども家庭支援課	214人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

教育大綱	3.学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします							
施策の基本的方向	8.人権尊重の社会づくりの推進							
具体的な施策	担当課	計画策定時	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績見込み	R7年度目標	R7年度計画目標値
(30) 人権学習・啓発等の推進								
④ 自治会での人権学習会の評価（5段階評価）	人権施策推進課	4.6	2.7	3.7	4.0	4.8	4.8	4.8
(31) 男女共同参画に関する学習機会・啓発等の推進								
⑤ 固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合（男女共同参画に関する市民意識調査）	人権施策推進課	58.90%	62.00%	調査なし	— ※	— ※	70.0%	70.0%

※男女共同参画に関する市民意識調査は5年ごとに調査（令和3年度実施）となっており、次回は令和8年度に実施。

教育大綱	4.地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てます							
施策の基本的方向	9.地域の伝統・歴史・文化の継承							
具体的な施策	担当課	計画策定時	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績見込み	R7年度目標	R7年度計画目標値
(32) 文化財の調査と保護の推進								
⑥ 指定文化財の件数	文化観光課 （歴史まちづくり室）	453件	470件	470件	478件	479件	484件	459件
(33) 歴史文化の継承								
⑦ 地域にある文化財を保護・活用する保存活用団体等の数	文化観光課 （歴史まちづくり室）	1件	1件	1件	1件	1件	3件	3件
(34) 歴史文化の活用と情報発信								
⑧ 長浜城歴史博物館の入館者数	文化観光課 （歴史まちづくり室）	99,481人	17,390人	90,118人	93,542人	85,000人	130,000人	130,000人

教育大綱	5.市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります							
施策の基本的方向	10.人生100年代を見据えた生涯学習の推進							
具体的な施策	担当課	計画策定時	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績見込み	R7年度目標	R7年度計画目標値
★ (35) 誰もが学べる場の提供								
41 地域に根ざした生涯学習事業（学びと生涯学習のまちづくり推進事業）の計画講座数	生涯学習課	429講座	271講座	353講座	354講座	380講座	460講座	460講座
42 子ども学び座の計画講座数	生涯学習課	→上段に統合	上段に統合	上段に統合	→上段に統合	→上段に統合	→上段に統合	→上段に統合
★ (36) 多様な学びの機会の提供								
43 生涯学習講座（学びなおし講座）の計画講座数	生涯学習課	9講座	10講座	9講座	5講座	5講座	12講座	12講座
★ (37) 学びを深める人づくりの支援								
44 リーダー育成事業 目標人数に対する参加率	生涯学習課	80.0%	80.0%	81.0%	80.0%	80.6%	90.0%	90.0%
★ (39) 図書館サービスの充実								
45 レファレンス事例のホームページ公開件数	生涯学習課 （図書館）	—	8件	15件	14件	15件	15件	15件
★ (40) 図書館を情報拠点とした市民の学習活動の支援								
46 図書館における貸出冊数	生涯学習課 （図書館）	873,970冊	870,578冊	847,524冊	840,236冊	813,619冊	1,300,000冊	1,300,000冊
★ (41) 子どもの読書活動の推進								
47 1か月間の読書冊数が1冊以下の割合・小学4年から6年生	生涯学習課 （図書館）	8.8%	12.7%	12.1%	11.4%	14.4%	7.5%	7.5%
48 1か月間の読書冊数が1冊以下の割合・中学生		33.9%	32.6%	39.2%	41.0%	48.6%	15.0%	15.0%

教育大綱	5.市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります							
施策の基本的方向	11.文化・芸術の創造と振興							
具体的な施策	担当課	計画策定時	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績見込み	R7年度目標	R7年度計画目標値
(42) 文化芸術の鑑賞の充実と創作・発表・交流活動への支援								
⑨ 長浜市文化芸術ユース会議実施イベントの参加者数	文化スポーツ課	812人	732人	1,388人	3,320人	3,183人	2,000人	900人
⑩ 自校主催の吹奏楽演奏会を開催している中学校の数	文化スポーツ課	4校	1校	3校	4校	4校	5校	5校
(43) 文化施設の活用と文化芸術団体との連携・協力								
⑪ 長浜市舞台芸術交流祭の参加団体数	文化スポーツ課	8団体	中止	14団体	8団体	10団体	9団体	9団体
⑫ 長浜市芸術文化祭の参加事業数	文化スポーツ課	54事業	事業終了	事業終了	事業廃止	事業廃止	60事業	60事業
⑬ 長浜市民芸術文化創造協議会会員数	文化スポーツ課	8団体	12団体	9団体	9団体	9団体	9団体	9団体

教育大綱	5.市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります							
施策の基本的方向	12.スポーツ活動の推進							
具体的な施策	担当課	計画策定時	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績見込み	R7年度目標	R7年度計画目標値
(44) 「する」スポーツの推進								
⑭ スポーツ施設利用者数（学校開放事業除く）	文化スポーツ課	530,239人	345,426人	571,798人	576,000人	570,000人	560,000人	560,000人
⑮ 全国規模大会開催数	文化スポーツ課	4件	4件	4件	3件	5件	15件	15件

教育大綱		6.安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します							
施策の基本的方向		13.質の高い教育のための環境整備							
具体的な施策		担当課	計画策定時	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績見込み	R7年度 目標	R7年度 計画目標値
★（47）誰もが安心して学べる学校・園施設等の整備									
49	小学校・中学校・義務教育学校のエレベーター 設置割合	教育総務課	小：52.2%	小：52.2%	小：52.2%	小：52.2%	小：60.0%	小：60.0%	小：60.0%
50			中：70.0%	中：70.0%	中：70.0%	中：70.0%	中：70.0%	中：100.0%	中：100.0%
51			義：100.0%	義：100.0%	義：100.0%	義：100.0%	義：100.0%	義：100.0%	義：100.0%
52			合計：60.0%	合計：60.0%	合計：60.0%	合計：60.0%	合計：74.0%	合計：74.0%	合計：74.0%
★（49）教職員研修の充実									
53	自主啓発研修・研究発表会等に、主体的に参加した教職員の人数	教育指導課 （教育センター）	延べ773人	延べ833人	延べ1,133人	延べ1,683人	延べ2,000人	延べ2,000人	延べ966人
★（51）学校適正配置の協議・取組の推進									
54	本市において適正に配置されていると考える学校の割合	教育改革推進課	82.9%	82.9%	82.9%	82.9%	82.9%	85.0%	85.0%
55	小中一貫教育により「学習指導」、「生徒指導」、「教職員の意識改革」に効果が認められたと回答した教職員の割合	教育改革推進課	70.8%	76.0%	86.7%	87.1%	76.4%	76.9%	前年度比＋0.5%

基本目標 (教育大綱)	Ⅰ 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	Ⅰ 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

■具体的な施策

Ⅰ 特色ある教育・保育の実践【幼児課】	
教育要領等の改訂に伴い、長浜市就学前教育カリキュラムの見直しを図り、各園の子どもの実態や課題を考慮した直接的、具体的な体験を通して学ぶ質の高い教育・保育の一層の充実に努めます。特に園区の地域自然や文化とのふれあい、さらに施設や人材の活用を図る等、地域性を生かした総合的で特色のある教育・保育活動を実践します。	
現状と課題	・各園において地域性を生かした特色ある保育を意識して取り入れている。 ・カリキュラム【改訂版】の理解を深め、より質の高い教育・保育を推進していく必要があります。
重点的に取り組む視点	公開保育等で学び合う機会を提供し、長浜市就学前教育カリキュラム【改訂版】の理解を深めていきます。

指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
園の教育課程及び指導計画に、特色ある保育内容を取り入れている割合		50.0%	100.0%	100.0%	100.0%
指標の基礎となる数値	市内公立園のうち、特色ある保育内容を教育課程及び指導計画に取り入れている園の割合	10園／20園	20園／20園	20園／20園	20園／20園

事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	特色ある教育・保育の実践	身近な自然や環境での体験活動の充実や、地域の資源・人材の活用を図る等、地域性を生かした特色ある保育・教育を進める中で、魅力ある園づくりを進めます。	各園の教育課程に、地域性を生かした体験活動等を発達に合わせて取り入れる等、特色ある取組を計画的に実践します。	960	幼児課
成果(取組)目標		全園で地域性を生かした特色ある保育を実践し、豊かな体験ができる機会をつくります。			

事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	長浜市就学前教育カリキュラム改訂事業	長浜市就学前教育カリキュラム【改訂版】の理解を深め、より質の高い就学前教育の推進を図ります。	公開保育等の研修会で、長浜市就学前教育カリキュラム【改訂版】を活用して学び合う。リーフレットを作成し、保護者にも周知します。	325	幼児課
成果(取組)目標		長浜市就学前教育カリキュラム【改訂版】を活用し、公開保育等の研修会で学び合います。			

基本目標 (教育大綱)	Ⅰ 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	Ⅰ 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

2 主体的な学びを育む教育・保育の充実【幼児課】				
子どもが身近な自然や物的・人的環境等に主体的に関わる中で、興味関心を広げ夢中になって遊びを創造する楽しさを味わうことのできる教育・保育の充実に努めます。また地域の自然を生かした体験活動や集団遊び等の多様な活動を通して、人と関わるコミュニケーション能力や基礎的な体力・運動機能の向上を図ります。				
現状と課題	・地域の自然や園庭環境をいかした遊びを通して、様々な体の動きや人とのかかわる経験ができるように取り組んでいます。 ・家庭や地域において、体を動かしたり子ども同士で遊んだりする機会が減っているため、園内での取り組みを充実させていくとともに、体を動かすことの大切さや効果について、広く啓発していく必要があります。			
重点的に取り組む視点	子どもが主体的に楽しみながら多様な動きを経験できる機会をつくり、コミュニケーション能力や基礎的な体力・運動機能の向上を図ります。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実感した割合（保護者アンケート）		—	89.0%	70.0%
指標の基礎となる数値	「就学前教育における子どもの育ちに関する調査」（5歳児の保護者対象）における15項目で、子どもの育ちの姿を実感した割合の平均値	—	—	—
事業名または取組名	目的	概要		予算 (千円)
継続	主体的な学びを育む教育・保育の充実	多様な経験や集団遊び等、子どもたちが夢中になって取り組む遊びを創造することで、意欲や自信さらにはコミュニケーション力を培います。 ・遊びを通して様々な体の動きを経験するとともに、意欲や自信、人とのかかわる力が育つような環境や遊びの充実を図る。 ・子どもが主体的に遊びこめる園庭環境や保育内容の見直しをテーマにした研究を進めます。		211
成果(取組)目標		園庭環境を見直し、遊びを通して楽しみながら主体的に体と心を動かすことができる環境づくりを工夫します。		
事業名または取組名	目的	概要		予算 (千円)
継続	運動あそびの推進	遊びの中で体を動かす機会をつくり、その時期に身に付けることのできる基礎的な運動能力や体力を培います。 ・子どもの発達に合わせた運動あそびを実践し、基礎的な運動能力や体力・意欲の向上を育成します。 ・家庭や地域に、乳幼児期における体を動かすことの大切さを広く伝えます。		28
成果(取組)目標		保育に体を動かす遊びを取り入れるとともに、地域や保護者に対して親子あそび等の機会をつくります。		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
園庭環境の改善によって、子どもたちが遊びやすい、運動しやすい園が増えつつあると実感しているので、今後もこの取組を続けてほしい。	主体的に遊びこめる園庭環境について、令和5年度から研究を進めてきた2園による報告会を実施します。また、令和7年度より新たに2園が研究園として、専門分野のアドバイザーを招聘して学び、園庭環境や保育内容の充実につなげます。

基本目標 (教育大綱)	Ⅰ 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	Ⅰ 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

3 一人ひとりの特性に応じた支援体制の充実【幼児課・教育指導課】				
関係機関や小学校との連携を図る中で、各園における支援体制の強化を図ります。また、支援児や外国籍児に対して、一人ひとりの発達や特性に応じた支援について職員のスキル向上をめざし研修体制の充実に努めます。				
現状と課題	・関係機関や就学先等と連携し、一人一人に応じた支援内容をつなげている。 ・特別支援についての学びを深めることができるよう、園の実態に合わせた研修や体制づくりが必要です。			
重点的に取り組む視点	支援児や外国籍児等だけでなく、多様性を意識したインクルーシブな保育を推進していきます。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
特別支援教育士資格の取得者数		1人	3人	5人
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	特別支援教育体制の充実	一人一人の特性に応じた適切な支援内容及び体制を整えることで、就学前特別支援教育の充実を図ります。	・特別支援教育推進員を中心に、園内支援の充実や支援担当職員研修を行い、学びを深めていきます。 ・支援児や外国籍児等、個に応じた適切な支援につながるよう、専門家による指導や研修を実施します。	953
成果(取組)目標		インクルーシブ保育を目指し、どの子も育ちあえるより良い保育のあり方を考え、実践につなげます。		
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	特別支援教育推進における人材育成	職員の特別支援にかかわる専門的な知識や技能、指導力の向上を図ります。	・特別支援教育士の資格取得を計画的に進め、園内での特別支援教育を推進します。 ・特別支援に関わる講座を開催し、園内支援の質の向上を図ります。	191
成果(取組)目標		特別支援教育について園内での支援を充実させるため、専門的に学べるような体制を整えます。		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
特別支援教育士や運動保育士の資格の取得することで、園の中で、それぞれの分野のリーダー的な役割を期待できること、また、保育士としての自信にもつながると考えるため、資格取得を支援する取組みを続けてほしい。	特別支援教育士の資格の取得に向けて、専門的に学べるような体制を継続して整えます。 専門的な知識を持つ保育士が園内外でスキルや知識を広め、職員全体の資質向上につなげます。

基本目標 (教育大綱)	Ⅰ 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	Ⅰ 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

4 言葉の力の基礎の育成【幼児課】				
親子による絵本等の読み聞かせの推進により、乳幼児期の成長に必要な親子でのコミュニケーションを生み出すとともに、絵本を通じたふれあいの中で、想像力や言葉の表現・意味の理解、聞く力等、子どもたちに言葉の力の基礎を育みます。				
現状と課題		・絵本等の読み聞かせはボランティア等外部の方を含め、毎日行っている。 ・親子で絵本に親しむ機会をつくり、保護者に絵本の大切さをさらに広めていく必要があります。		
重点的に取り組む視点		絵本等の大切さを保護者にも伝え、絵本等を通して豊かな言葉にふれる機会を増やしていきます。		
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
家庭において、乳幼児に週2日以上読み聞かせを実施している割合		—	66.0%	90.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	豊かなことばを育む指導の充実	絵本やお話、ことば遊びなどを通して、豊かなことばを育み、話す力、聞く力、伝え合う力等を育成し、就学前教育の指導力向上を図ります。	絵本等と親しむ機会をつくり、主体的な遊びや感動・活動体験から豊かなことばを育む保育を実践します。	0
成果(取組)目標		各園で豊かなことばが育まれるような主体的な遊びや体験活動を取り入れます。		
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	親子での絵本等の読み聞かせの推進	親子による絵本等の読み聞かせを通して、親子でのコミュニケーションや乳幼児期に必要な愛着関係を築きます。	親子による絵本の読み聞かせを推進し、家庭での読み聞かせについて意識の向上を図ります。 各園における絵本等の読み聞かせを充実するとともに、家庭への絵本貸し出しを充実します。	863
成果(取組)目標		保育参観時に親子で絵本にふれる機会を設けることで、読み聞かせの大切さを伝え、保護者の関心を高めます。		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
絵本の読み聞かせの効果をより発揮させること、保育士としての自信につなげることを目的に、認定絵本士の資格の取得について支援することを検討してはどうか。	主体的に学ぶ場として、読み聞かせ研修は継続的に毎年実施しています。絵本の読み聞かせの教育的価値や効果等について学び、保育に取り入れ、家庭へ発信をしていきます。

基本目標 (教育大綱)	Ⅰ 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	Ⅰ 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

5 就学前教育から小学校教育への円滑な接続の推進【幼児課】						
就学前教育と小学校教育以上の学校教育を貫く「資質・能力の3つの柱」を基本に、園と小学校の連携のもとにアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの見直しを図り、園から小学校への円滑な接続ができるように、発達や学びの連続性を踏まえた指導の充実を図ります。また、園と家庭、地域が連携・協働体制を構築し、子どもの学びを豊かなものにしていきます。						
現状と課題		・R5年度より、園小中接続協議会、園小接続研修会を実施し、中学校区ごとに子どもの姿の共有や連携を進め、園小接続カリキュラムの作成を行いました。 ・子どもの姿の理解を深め、連携を継続させていく必要があります。				
重点的に取り組む視点		中学校区ごとの子ども・職員の交流により、学びのつながりについての理解を深めます。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
スタートカリキュラム・園小接続カリキュラムをテーマにした園小連携及び研究会の実施校区の数		I小学校区	25小学校区	25小学校区	全小学校区	
		25小学校区中	25小学校区中	25小学校区中		
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	園小接続カリキュラムの推進事業	教育要領等示される「資質・能力の3つの柱」の育成に向け、就学前の学びを小学校へ円滑に接続します。	教育指導課・教育センターと連携し、園・小・中・義務教育学校の連続した学びについての研修等において学び合います。		42	幼児課
成果(取組)目標		園と小学校が子どもの姿や学びを共有し、地域の状況に応じた園小接続カリキュラム、スタートカリキュラムを継続して加除修正、実践し、理解を深めます。				
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	園小中連携推進事業	各校区における子どもの課題やめざす姿を明らかにし、園・小・中・義務教育学校が連携しながら、発達や学びの連続性を踏まえた指導をします。	地域ごとに園小中連携をすすめ、保育・授業参観、研究会等を通して交流を深めます。		0	幼児課
成果(取組)目標		各地域で保育・授業参観、研修会での交流を行い、連携を深めます。				

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
保育士と教職員の連携・交流だけではなく、例えば、コロナ前のように5歳児と小学5年生が交流する場を設けることで、翌年度の入学時に、5歳児にとっては、最終学年の姿にあこがれをもつことができ、小学5年生にとっては、学校を引っ張るリーダーとしての思いを育むことができると考えるため、実施を検討してはどうか。	すでに5歳児と小学5年生が交流している学校もあります。園小中接続協議会の中で、中学校区での取り組み発表や意見交換の機会を設けることで好事例を発信し、様々な交流活動等につなげていきます。

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

■具体的な施策

6 きめ細かな指導の充実と学習方法の工夫改善【教育指導課】					
言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成や「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業改善に取り組めます。ICT機器の活用を効果的に進め、創造的な問題発見・解決学習を充実させるとともに、個々に応じた学びの最適化により基礎学力や学習意欲の向上を図ります。					
現状と課題		全国学力・学習状況調査等の結果から、中学校（義務教育学校後期課程含む）では全国平均との差は縮まったものの、小学校（義務教育学校前期課程含む）・中学校ともに全国平均には届いていない。質問紙の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をした児童生徒は、小学校は全国平均より高く、中学校は昨年度より7.4ポイント上昇しています。			
重点的に取り組む視点		・長浜スタイル「子どもが自ら学ぼうとする授業」による授業改善に継続的に取り組む。また授業改善について学ぶ機会を増やします。 ・「学びに向かう力」育成の取組を充実する。また、自己存在感の感受を促進する機会や場の充実を図ります。 ・保幼小中の縦の接続を意識し、連携を深めるとともに、系統的な取組を行うことで、「生きる力」の育成を図ります。			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	心輝く学校づくり推進事業	各校の教育課題に応じて、特色ある教育活動を推進します。	・外部講師から指導を受ける機会を設け、教員の授業力の向上を図るなど、児童生徒の学力向上に向けた取組を行います。 ・外部指導者による指導を受けながら、体験活動の充実を図ります。 ・県事業・学校運営協議会の充実を図ります。	19,156	教育指導課
成果(取組)目標		全ての学校において、校内研究として長浜スタイル「子どもが自ら学ぼうとする授業」を実施および公開し、授業改善の取組を推進します。			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
新規	学力向上事業	小学校及び義務教育学校（前期課程）において、児童への指導環境の整備に重点的・効果的に取り組むことにより、長浜市の目指す「真の学力」向上を図ります。	小学校、義務教育学校（前期課程）に「学力向上支援員」を配置し、児童の学力向上を図る。また、低学年児童の学校生活の安定を図るための支援を行います。	16,886	教育指導課
成果(取組)目標		全国学力・学習状況調査の「子どもが自ら学ぼうとする授業に資する質問事項」に係る割合の肯定的回答を90%とします。			

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

7 いじめ防止対策の総合的な推進【教育指導課】						
いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、「長浜市いじめ防止等の基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応のための対策を総合的に推進します。また、自分らしさを発揮し、互いに認めあい、支えあい、いじめを生まない・許さない社会の実現に向けて主体的に取り組もうとする子どもを育成します。						
現状と課題		令和元年度以降、いじめの認知報告数は横ばい傾向であるが、コロナ禍以降、急速に普及したスマホやタブレットなどの情報端末によるいじめ事案の報告が増加している。未然防止の取り組みと併せて、早期発見、早期対応の学校づくりが必要です。				
重点的に取り組む視点		・「長浜市いじめ防止等の基本方針」や各校作成の「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止と早期発見、早期対応のため、学校支援体制をより一層強化します。 ・SCやSSW、弁護士、精神科など専門家に相談する機会を設け、学校や児童生徒支援にあたります。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
いじめと認知され、対応することができた件数 ※「いじめを見逃さない」という考え方から、積極的に認知するための指標とします。		小学校192件	小学校320件	小学校330件	前年比増	
		中学校75件	中学校100件	中学校110件		
いじめの解消率		小学校78.0%	小学校74.0%	小学校100%	小学校100%	
		中学校84.0%	中学校76.0%	中学校100%	中学校100%	
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	学校支援チーム活用事業	様々な社会情勢や家庭環境を背景に、児童生徒・教職員に関わる重篤な問題事案に対して、弁護士や精神科医から専門的指導・アドバイスを受け、学校の初期対応・事後対応を円滑に進めます。	困難な事案の発生時に、弁護士や精神科医が入ったケース会議や相談会を開催します。		736	教育指導課
成果(取組)目標		弁護士や精神科医の専門的指導や助言によって、学校が該当児童生徒や保護者、事案に対して自信をもって迅速に対応できるようにします。				
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	スクールソーシャルワーカー活用事業	課題を抱える児童生徒の背景を福祉的な側面からアセスメントし、個に応じた効果的なかわりにつなげます。	小・中・義務教育学校にスクールソーシャルワーカー（SSW）やスクールソーシャルワークススーパーバイザー（SSWSV）を派遣します。		2,320	教育指導課
成果(取組)目標		担当指導主事とSSWが常日頃から連携し、学校からニーズがあった時に迅速に対応できるようにする。また、課題の大きなケースについては、SSWSVがアセスメントやアドバイス等に応じます。				

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
目標について、「いじめと認知され、対応することができた件数」ではなく、「教員がいじめと認知し、対応することができた件数」とすることで、教員がいじめを敏感に察知することを捉えた目標とすることが出来ると考えるため、次期計画の策定時に目標設定の見直しの検討をしていただきたい。	「いじめの認知件数」とは校内いじめ問題対策委員会で判断し、認知を行ったものであり、本人や保護者、まわりの友達やアンケートから訴えがあれば、まずチームで情報を共有し、正確で迅速な事実確認のもと判断している。児童生徒の人権を守り、安心安全な学校生活を保障するためには、各校において、いじめを許さない学校づくりを通して、前年度より認知件数が減少するように努力することは大切なことである。学校には引き続き、「いじめを見逃していないか」「潜在化しているいじめがあるのではないかと常にアンテナを高くし、児童生徒の様子を丁寧に観察することの大切さを周知していく。併せて、「いじめの解消率100%」を達成することを最大の目標におきながら事業展開をしていきます。

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

8 特別支援教育の推進【教育指導課】						
各園小中学校間の連携のもと、しょうがいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別の指導計画及び教育支援計画の作成を一層進め、長期的な視点で子どもの自立に向けての適切な指導や支援を行います。また、子どもに関わる教職員の専門性向上の取組を進めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に努めます。						
現状と課題		特別な支援を必要とする児童生徒に対して、合理的配慮を講じつつ、「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」の充実を図るとともに、効果的な活用の在り方を模索する必要があります。				
重点的に取り組む視点		学校園相談事業や学校間の引継ぎ、特別支援教育に係る会議等の資料として「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を活用するとともに、保護者（・本人）と作成・共有することにより指導・支援の充実を図ります。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
通常学級に在籍している児童生徒のうち支援が必要と考えられる者で、「個別の指導計画」が学校で作成されている割合		93.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
特別支援学級在籍児童生徒及び通級による指導を受ける児童生徒の「個別の教育支援計画」を作成する割合		—	100.0%	100.0%	100.0%	
特別支援学校教諭免許状の取得者数		69人	96人	100人	前年比増	
事業名または取組名		目的	概要		予算 （千円）	担当課
見直し	特別支援教育推進事業（支援体制の充実）	就学前からの切れ目のない支援体制（合理的配慮支援員等の配置を含む）を整備し、インクルーシブ教育システムの構築を図ります。	総合育成支援員（合理的配慮支援員・医療的ケア看護師・介助員）の配置や、市内特別支援学級在籍児童生徒の交流活動を充実させるための経費補助を行います。		36,845	教育指導課
成果(取組)目標		障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が、一緒に教育を受ける状況と柔軟な教育課程及び指導体制の構築を図ります。				
事業名または取組名		目的	概要		予算 （千円）	担当課
見直し	特別支援教育推進事業（専門性向上の推進）	教職員の専門性を高め、一人ひとりの教育的ニーズに応じた切れ目のない支援が行える体制を整えます。	一人ひとりの発達や特性に応じた支援について教職員の専門性の向上に努め、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の活用を促進させます。		1,251	教育指導課
成果(取組)目標		校園での指導・支援を充実させるため、特別支援教育について専門家に相談したり、専門的に学べたりする体制を整えます。				

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

9 多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援【教育指導課（教育センター）】						
児童生徒の発達段階や発達課題及び家庭環境等に応じたきめ細かな教育相談活動の充実に努めるとともに、スクールカウンセラー等専門家や関係機関との連携を図ります。 また、児童生徒の課題に応じた体験活動や生活改善に向けた指導・支援プログラム等を開発・実施し、児童生徒の自尊感情を高める、多様な学びの場を求める子どもへの教育機会の確保を推進します。						
現状と課題		不登校の児童生徒は年々増加しており、多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援ニーズは高まっている。また、発達に課題のある児童生徒について、保護者からの相談や検査依頼も増加している。個に応じた支援・指導をより充実させるために、学校・家庭・関係機関との密な連携が必要です。				
重点的に取り組む視点		・保護者や学校の相談依頼に対して、カウンセラーや心理判定員・相談員・専門家による教育相談や指導支援を行います。 ・不登校児童生徒に対する指導支援の場として、こどもサポートルームなないろを運営します。 ・社会的自立に向けて、医療や福祉、NPO、フリースクール等の外部機関との連携を図ります。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
多様な学びの場を求める子どもが学校以外の場で学ぶことにより出席認定された数		13人	53人	60人	前年比増	
事業名または取組名		目的	概要		予算 （千円）	担当課
継続	教育相談事業	不登校や発達に関する悩みを持つ保護者や教職員に対して、現状の見立てや支援方法の提案を行う等、きめ細やかな相談をおこないます。	・カウンセラーや心理判定員・相談員等による教育相談を実施します。 ・専門家（オプトメトリスト・作業療法士）を派遣します。		23,084	教育センター
成果(取組)目標		・専門家を全20回学校に派遣します。 ・個の課題を適切に見立て早期支援に繋がるよう、学校、保護者、関係機関との連携を図ります。				
事業名または取組名		目的	概要		予算 （千円）	担当課
継続	こどもサポートルームなないろの運営事業	こどもサポートルームなないろにおいてきめ細やかな支援や指導を行い、不登校状況にある児童生徒の社会性や自己肯定感を育み、自立へとつなげる。	・こどもサポートルームの運営・指導・支援を行います。 ・スクリーニング・ケアサポーターを配置します。		18,645	教育センター
成果(取組)目標		・こどもサポートルームなないろ通室生数について前年比増を目指します。 個別支援、小集団支援、アウトリーチ支援等、多様な通室支援のあり方を検討し、個別最適な不登校支援を行います。				

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
教育相談（登校支援、発達支援）の実施件数は、今後も増加していくだろうという予測がある一方で、相談員の高齢化について懸念をしているので、相談員の後身の育成について、より力を入れていただきたい。	若い指導員が昨年度より加入している。育休に入っている指導員も本年度より戻ってくる。若手の成長、世代交代も意識しながら、引き継いでいけるよう取り組みを進めていきます。

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

10 日本語指導が必要な児童生徒への支援					
日本語指導が必要な児童生徒が多数在籍する学校では、日本語教室の開設、日本語指導担当教員の配置、母語通訳のできる指導員や支援員の巡回により、学習指導、生活指導、教育相談等を行い、「やさしい日本語」視点も取り入れながら学校生活を円滑に送れるよう支援します。					
現状と課題		学校と各支援員が連携し、個に応じた指導・支援を行うことにより、外国にルーツのある児童生徒が学校生活を円滑に送っている。しかし、海外からの直接転入等により、日本語が全く話せない児童生徒が増加しているため、初期指導体制の強化が必要である。また、多言語での支援や、外国にルーツのある児童が多く在籍する学校の増加に伴い、支援が難しい言語や状況が増えており、支援体制の強化が必要です。			
重点的に取り組む視点		サポート支援員の増員により、初期指導体制や母語支援体制の強化を図ります。			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	外国人子どもサポート事業	日本語指導が必要な外国籍または日本国籍児童生徒が基本的な日本語コミュニケーション能力を獲得し、基礎的・基本的な学力を身に付け、卒業後の進学・就職など将来への展望をもつことができるよう支援します。	サポート指導員および支援員、学習指導員、初期指導員による初期指導の強化、個別の支援を充実させ、外国人児童生徒の就学を円滑にします。	27,982	教育指導課
成果(取組)目標		サポート支援員を最大限（年間9,000時間及び緊急派遣対応）活用し、外国人児童生徒教育の支援を充実させます。			

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3 確かな学力の育成

■具体的な施策

Ⅱ 各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施【教育指導課】				
子どもたちの姿や地域の現状の把握を基に、各教科等の教育目標を実現するために、相互の関係で捉え、教科横断的な視点で教育内容を組織的に配列していきます。また、「探究的な見方・考え方を働かせる」問題解決型の発展的学習等、教育内容の質の向上に向けて、教育課程の編成、実施、評価・改善を図る一連のPDCAサイクルを確立します。				
現状と課題	全国学力・学習状況調査において、本市の正答率が全国平均を下回っている。各校が行っている特色ある教育活動が各教委の学びの深化・発展につながるようカリキュラムの編成をさらに見直すとともに、教科横断的な視点から活動内容の精選、見直しを図っていく必要があります。			
重点的に取り組む視点	各校の特色ある教育活動が各教科の学びの深化・発展へつながるようカリキュラムの編成、実施を図ります。学校訪問や学ぶ力向上推進リーダー会議、研究授業公開を通して、授業改善および長浜スタイルの実践を徹底します。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
全国学力学習状況調査・国語の正答率と本市正答率との比較 (全国学力・学習状況調査)		小	-2.8%	小 -0.3%
		中	-2.8%	中 -0.3%
全国学力学習状況調査・算数(数学)の正答率と本市正答率との比較 (全国学力・学習状況調査)		小	-1.6%	小 0.9%
		中	-0.8%	中 1.7%
				前年度比 +0.5%
				前年度比 +0.5%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
新規	学力向上事業	小学校及び義務教育学校（前期課程）において、児童への指導環境の整備に重点的・効果的に取り組むことにより、長浜市の目指す「真の学力」向上を図ります。	小学校、義務教育学校（前期課程）に「学力向上支援員」を配置し、児童の学力向上を図る。また、低学年児童の学校生活の安定を図るための支援を行います。	16,886
成果(取組)目標		全国学力・学習状況調査の「子どもが自ら学ぼうとする授業に資する質問事項」に係る割合に対する肯定的回答を90%とします。		
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	心輝く学校づくり推進事業	各校の教育課題に応じて、特色ある教育活動を推進します。	各校の特色ある教育活動を支援し、確かな学力の定着と、たくましい心・豊かな人材育成をめざすために指導体制の充実に努める。特に、子どもたちに「真の学力」を身に付けることを最重要目標にして、具体的な取組を計画し実践します。	19,156
成果(取組)目標		・全ての学校において、校内研究として長浜スタイル「子どもが自ら学ぼうとする授業」を実施および公開し、授業改善の取組を推進します。 ・「学びに向かう力」を育成する取組（学校行事、体験活動、園小中連携、交流活動等）を行います。		

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3 確かな学力の育成

12 言葉の力の育成【教育指導課】					
言語に関する能力は全ての教科の基本であることから、思考力・判断力・表現力等を育む言語活動（読む力、書く力、聴く力、話す力）の充実を図り、自分の考えや意見を表現する活動を取り入れ、正しい日本語の書き方や論理的な思考を育みます。また、学校司書の配置や学校・園の蔵書整備等を進める等の学校図書館を活用した取組及び図書館との連携により、言葉の力の育成を図ります。子どもたちが幼児期から読書習慣を身に付けることができるように、読書環境の整備を進めます。					
現状と課題		朝の読書や、教職員・学校司書・ボランティアなどによる読み聞かせやおはなし会の開催など、学校毎にいろいろな取組をおこなっているが、小学4年生から中学3年生で一か月間で本を読む冊数が1冊以下と回答した子どもの割合の推移は増加傾向にあり、学年があがるにつれて本を読まない実態があります。			
重点的に取り組む視点		・学校司書や学校図書館担当との連絡協議会や研修の充実を図ります。 ・令和6年度に導入した統一した蔵書管理システムを有効に運用し、学校図書館の利用向上と、児童生徒の読書量の増加を図ります。			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	学校図書館教育の推進	全ての学校に学校司書を配置し、司書教諭等と連携協力しながら学校図書館の整備を進め、言語活動の充実につながる図書館活用の推進を図ります。	・小・中・義務教育学校に学校司書を配置します。 ・学校司書連絡協議会及び研修会を実施します。 ・蔵書管理システムの活用により業務のDX化を図り、学校司書が授業に関わる時間を増やします。	15,177	教育指導課
成果(取組)目標		市内全小・中・義務教育学校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した活動を推進する。 市立図書館と連携しながら子どもたちの読書活動を推進し、言葉の力を育成します。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
小学4年生から中学3年生で、1か月間で本を読む冊数が1冊以下と回答した子どもの割合は年々増加傾向にあるとのことだが、これは、スマートフォンの普及やICT端末の配布によるものなのか、理由を検証されるほうが良い。	令和6年度全国学力・学習状況調査結果によると、SNS、動画視聴に関する質問で、本市は特に中学生のゲームやSNSに費やす時間が全国と比べて長いことが分かった。このことが、直接の原因かどうかはわからないが、引き続き読書の大切さについて伝えていきます。
子どもの読書時間が減少している要因のひとつが、朝の読書時間をAIDリルソフトを使用し問題を回答する時間に置き替えていることによるものであるならば、子どもの読書時間を確保するためにどうするのかを研究をしていただきたい。	市立図書館の学校貸出資料配送事業や学校図書館からの貸出を活用し、教室において本が身近にある環境を作ること、時間のない中でも本に親しむ環境を整えます。 小学校低学年では学校図書館での貸出に時間がかかることから、蔵書管理システムを活用し貸出にかかる時間を短縮し、本を借りるハードルを下げ、読書時間の確保に努めます。

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3 確かな学力の育成

13 英語教育の推進【教育指導課】				
今後ますます進展するグローバル化に対応できる資質や生き方を身につけた児童生徒の育成のため、小学校から中学校までの9年間の英語教育を推進します。小学校学級担任及び中学校英語科教員のより一層の指導力向上に努め、互いの考えや気持ちを伝えあう対話的な言語活動の充実等の授業改善に取り組みます。				
現状と課題		全小・中・義務教育学校への英語講師の配置により、児童生徒はネイティブの英語に触れ、授業や日常生活の中で自然と英語を発する姿につながっている。AIアプリの並用等を見据えたICT機器等の活用を図ることで、ネイティブの発音に触れる機会を増やし、言語活動の充実を図る必要があります。		
重点的に取り組む視点		・学校と英語講師の連携強化、及び、AIアプリの活用等を通して、授業力のさらなる向上を図る。 ・ICT機器を活用し、児童生徒を主体とした言語活動の充実を図ります。		
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
CEFR（セファール）A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生生徒の割合		38.5%	53.1%	55.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算 （千円）
継続	英語教育推進事業	小学校3年から中学校までの7年間を通して、特色ある英語教育を推進し、児童生徒の国際コミュニケーション能力の基礎を培うとともに、豊かな国際性を育みます。	・教員と外国人英語講師（ALT）とのチーム・ティーチングを行います。 ・英語指導力向上のための研修を実施します。 ・中学校・義務教育学校（後期）に音読・プレゼンテーション練習ができるAIアプリを導入します。	41,374
成果(取組)目標		英語講師の効果的活用により、言語活動を中心とした授業を展開し、CEFR（セファール）A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生生徒の割合を55.0%(R7年度目標)とします。		

14 理科教育の推進【教育指導課】					
高い専門的な知的資源を有する長浜バイオ大学と連携し、実験観察等の体験的学習活動を通して、児童生徒の自然科学への興味・関心・知的欲求を高めます。教員が子どもたちに理科の面白さをより実感させるための教材研究を進め、指導の一層の向上と充実を図り、感性豊かな探究心や問題解決能力、科学的な見方や考え方を育成します。					
現状と課題		理科の学習の基盤となる子どもたちの自然体験や生活体験が乏しくなっている現状から、探究心や問題解決能力、科学的な見方や考え方を養うために、本物に触れる体験的学習が重要です。			
重点的に取り組む視点		高い専門的な知的資源を有する長浜バイオ大学において、学校だけではできない体験的学習活動を実施します。			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	長浜学びの実験室	児童生徒の科学への興味・関心を高め、探究心や問題解決能力、科学的な見方や考え方を育成します。 小・中・義務教育学校における理科教育指導の一層の向上と充実を図ります。	長浜バイオ大学の教授等の指導のもと、市内の小・中・義務教育学校の児童生徒が長浜バイオ大学内「長浜学びの実験室」で、実験観察を主体にした理科学習を行う。事前に大学教員と各校教員との協議を行い、連携して実験講座を実施します。	1,532	教育指導課
成果(取組)目標		令和7年度の受講後に実施する児童生徒アンケートの満足度（「楽しかった」「短く感じた」「もっと受けたい」の平均回答率）が70%以上となるように努めます。			

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3 確かな学力の育成

I5 教育の情報化の推進【教育改革推進課】				
情報化やグローバル化等の急激な社会的変化の中で、子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質・能力を身につけられるよう、学校ＩＣＴ環境整備と教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図ります。また、校務の情報化を推進し、教員が児童生徒に向き合う時間を増やし、教育活動の質の向上をめざします。				
現状と課題	1人1台端末を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた授業改善が進んでいる。教員のＩＣＴ活用指導力についても市内全体としては向上が見られるが、一定の学校間格差、教員間格差が存在しています。			
重点的に取り組む視点	1人1台端末をはじめとしたＩＣＴ機器を効果的に活用し、児童生徒主体の授業への質的転換を進めるとともに、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図る。校務支援システムやデジタル採点システム等の運用を推進し、より一層の校務のＤＸ化を進めます。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
授業にICTを活用して「資料・意見等の提示」、「学習用ソフトウェアを活用した協働的な学習」ができると答えた教員の割合（学校における教育の情報化の実態等に関する調査）		53.7%	86.5%	100.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	学校ＩＣＴ活用推進事業	ＩＣＴ機器を効果的に活用し、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現および教員のＩＣＴ活用指導力の向上を目指す。また、校務支援システム等の運用により、校務のＤＸ化を推進します。	1人1台端末の授業支援ソフト等を活用して、学習活動の充実を図る。統合型校務支援システム、デジタル採点システムの運用支援を行います。	25,596
成果(取組)目標		令和7年度の授業のある期間における授業支援ソフトへの児童生徒のログイン率を80%以上とします。		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
A Iドリルソフトの活用効果を示すにあたって、従来の紙のドリルで問題を回答することと、A Iドリルソフトで回答することを比較し、児童生徒の学習への関心、意欲、理解をどれだけ高めることができたのかという視点の検証もされるほうが良い。	A I型ドリルソフトの活用状況と全国学力・学習状況調査結果との相関関係の検証や、児童生徒向けアンケートの回答分析を通して、効果や課題等について確認していきます。
A Iドリルソフトの使い方や繰り返し問題を解くことの効果について学べる、保護者を対象とする説明会をより多く開催することで、保護者を巻き込み、児童・生徒のA Iドリルソフトの使用回数を増やすことができると考えるため、より多く開催することを検討していただきたい。	I C T支援員等を活用し、保護者を含めた親子iPad教室等の支援を行います。また、A I型ドリルソフトの効果的な活用方法等を、児童生徒本人および保護者あてに発信します。
I C Tの活用について定着が見られる一方で、学校間や教員間で活用の差がみられるということであるが、学校間の活用の差については、保護者では比較することが出来ないため、学校ごとのI C Tの活用状況を保護者に公開することで、保護者から学校に活用を促すことができるのではないかと。	各学校のI C T活用推進担当教員向けの集合研修を定期的に開催し、情報交換等を行うことで、学校間格差の縮小に努めます。また、A I型ドリルソフトの活用状況を示したレポートを毎月、学校へ送付し、活用を促します。

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	4 豊かな心の育成

■具体的な施策

16 キャリア教育の推進による自立心の涵養【教育指導課】				
社会的自立・職業的自立に向けて、児童生徒一人ひとりのキャリア形成を支援するために教科・科目、総合的な学習の時間、特別活動等をはじめ教育活動全体を通じて発達段階に応じた指導を組織的・系統的に行います。また、勤労観・職業観を育成するため、職場見学や職場体験等の体験活動や進路指導の充実に努めます。				
現状と課題	生徒個々にとって、職場体験が自分の将来や勤労について考える貴重な機会となっている。よりよい学習となるように、事前指導の中で、勤労の意義について考えさせる必要があります。 生徒が希望する体験事業所の確保が年々困難になっており、受け入事業所の確保に苦慮している状況が続いています。			
重点的に取り組む視点	生徒の将来につながるよりよい職場体験となるように、新規の事業所を開拓したり、受け入れ事業所との体験内容について丁寧に協議します。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
「職場体験で自分の良さや適性等を発見したり、確認したりできた」と答えた割合（中学生チャレンジウィーク事後アンケート）		89.0%	87.5%	95.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	キャリア教育推進事業	自分の進路を選択できる力や、将来社会人として自立できる力を育てます。	中学生チャレンジウィークとして、中学2年生・義務教育学校8年生に対し職場体験を実施します。	1,265
成果(取組)目標		・全生徒が自分の将来について考えるきっかけになるよう、市内全中学校・義務教育学校（後期課程）で職場体験を実施します。		
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	発達段階に応じたキャリア教育の推進	自立していくために必要な能力や態度を育成します。	教科、総合的な学習の時間、特別活動をはじめ、教育活動全体を通じてキャリア教育を推進する。一人ひとりがキャリア形成を見通し、振り返るためのキャリア・パスポート活用を推進します。	0
成果(取組)目標		将来のキャリア形成と自己実現につなげることができるよう、キャリア・パスポートを活用し、子ども自身の各学年段階での学びや体験の軌跡を記録します。		

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	4 豊かな心の育成

17 道徳教育・人権教育の推進【教育指導課】

道徳教育の充実を図り、学校の教育活動全体を通して他人を思いやる温かい心を育むとともに、わがまち・長浜を愛する子どもの育成を図ります。さらに地域と連携し、学んだことを生かして行動できる道徳的实践力を高めます。また、あらゆる教育活動を通じて子どもたちの自尊感情を高めるとともに、人権についての正しい理解と認識を培い、人権を尊重する実践的な態度の育成に努めます。

現状と課題 多様な価値観や文化を尊重する教育の必要性が高まっている社会において、道徳教育の充実を図る必要がある。また、いじめ、暴言・暴力、差別落書き、障がい者や外国人への差別など、人権問題がますます深刻化する社会情勢において、市内の教職員や保育士が様々な人権について学習する機会を設ける必要があります。

重点的に取り組む視点 市内の教職員を対象に、道徳教育研修会や人権教育研修会を実施し、道徳教育と人権教育に必要な力を育成します。

指 標（進捗管理目標）	計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
「自分には、よいところがある」と答えた割合（全国学力・学習状況調査）	小 81.6%	小 84.4%	小 87.0%	小 87.0%
	中 76.2%	中 81.0%	中 82.0%	中 82.0%

事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	人権教育の推進	子どもの自尊感情を高め、確かな人権感覚を育成します。	・教職員を対象とした人権教育研修会を、開催します。 ・3つの推進学区を指定し、各学期1回ずつ公開授業や研修会を実施します。	300	教育指導課
成果(取組)目標		研修会で身に付けたスキルを活かし、児童生徒の自尊感情を高めるとともに、人権を尊重する実践的な態度を身に付け、いじめや差別を許さない人権教育を推進します。			

事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	道徳教育の推進	道徳科及び全教育活動における道徳教育の充実を図る。	道徳教育研修会（選択研修を含む）を開催する。	0	教育指導課
成果(取組)目標		研修会で身に付けたスキルを活かし、児童生徒の他人を思いやる温かい心を育てるとともに、地域と連携し、学んだことを生かして行動できる道徳的实践力を高めます。			

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	4 豊かな心の育成

18 地域学習や文化芸術活動等の体験活動を通した豊かな感性の醸成【教育指導課】				
本市の豊かな自然や歴史、伝統文化等、様々な地域資源を生かした教育活動や体験活動を推進し、豊かな心や感性を培うとともに、郷土に対する誇りと郷土愛を育みます。				
現状と課題	本市の特徴である豊かな自然や歴史、伝統文化等を生かし、各学校の総合的な学習等において特色ある教育活動や体験活動を行っている。これらの活動が持続可能なものとなるよう、地域資源や人材の確保が必要です。			
重点的に取り組む視点	地域の活動への参加を呼び掛けるとともに、地域の資源や人材を生かしながら、地域への誇りと愛着をさらに持てるよう総合的な学習の時間をより充実した活動をおこないます。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた割合 (全国学力・学習状況調査)		小 83.3%	調査項目なし	小 88.0%
		中 67.5%	調査項目なし	中 72.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	地域学習や伝統文化等の体験活動の充実	子どもの豊かな心や感性を培い、郷土に対する誇りと郷土愛を育みます。	各校において、総合的な学習の時間等で、地域資源を生かした教育活動や体験活動をおこないます。	心輝く学校づくり推進事業 予算の一部
成果(取組)目標		各校において、総合的な学習の時間等の活動がより充実した活動になるよう地域や保護者と連携して取り組み、「地域に開かれた学校づくり」を推進します。		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
全国学力・学習状況調査においての、「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた割合の、中学生の実績値は56.8%（R4）から48.7%（R5）に減少しており、目標値（R5）も大きく下回っているが、その背景について検証されているのか。	割合の減少については、本市だけでなく、全国や滋賀県も同様に推移しており、本市は令和5年度は小学校は全国や県に比して大きく上回り、中学校は、小学校ほどではないが、全国・県を上回っています。引き続き、本市の取組を進めていくことが重要であると考えています。

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	4 豊かな心の育成

19 グローバルな視点での教育活動の推進【教育指導課】						
国際感覚豊かな児童生徒の育成を図るため、多文化共生の観点から外国や日本の伝統文化に対する理解を深めます。また、環境問題について、地球温暖化やオゾン層破壊、海洋汚染等のグローバルな問題をはじめとして、あらゆる地域の環境保全に関心をもつとともに、SDGsの視点も取り入れた行動がとれるよう、地域の特色を生かした体験的な環境教育を推進します。						
現状と課題		外国にルーツのある児童生徒の増加に伴い、児童生徒の多国籍化・多言語化が進んでいる。これらの児童生徒が在籍する学校を中心に、異文化との共生・理解に関する授業や取組を実施し、他国の文化や生活様式等を知り、共に学ぼうとする学校風土づくりに努める必要があります。				
重点的に取り組む視点		文化共生社会の基盤構築に向け、外国にルーツのある児童生徒と共に学ぼうとする学校・学級風土づくりに取り組みます。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と答えた割合(全国学力・学習状況調査)		小 66.9%	調査項目なし	小 72.0%	小 72.0%	
		中 58.7%	調査項目なし	中 64.0%	中 64.0%	
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	外国人児童生徒サポート事業	外国にルーツのある児童生徒と共に学び合う学校づくりの推進により、多文化共生社会の形成に向けた教育システムの構築を図ります。	・学校と連携し日本語教室の充実を図り、異文化に関する情報を発信する場とする。 ・各校における取組を共有し、実践のさなる充実を図ります。		27,982	教育指導課
成果(取組)目標		外国や自国の文化・生活様式等に対する理解を深めるため、多文化共生の視点を踏まえた学校・学級経営を実施します。				

20 情報モラル教育の推進【教育指導課】						
児童生徒の携帯電話やタブレット等の利用の拡大、使用方法の変化に伴う、SNS等を通じたトラブルを防ぐため、学校・家庭・地域社会が一体となった取組を進められるよう、学校では、企業等に協力を求めながら情報技術やサービス等の最新の情報の入手に努め、児童生徒、家庭に対して情報機器の正しい使い方の知識を身に付けるための啓発を進めます。健康を害するような行動について医療の面からの啓発活動も学習活動に取り入れながら情報モラルを醸成する教育を推進します。						
現状と課題		携帯電話やタブレット等の利用の拡大に伴い、SNS等を通じたトラブルが多く発生している。				
重点的に取り組む視点		一人一台端末の環境下で実施される授業での端末活用に合わせ、全教科を通じてネットトラブルなどを未然に防ぐ情報モラル教育の充実を図ります。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身につけさせるための研修会や授業を行った学校の割合		—	小 100.0%	小 100.0%	小中学校ともに	
			中 100.0%	中 100.0%	100.0%	
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	情報モラル教育の推進	情報機器やインターネットの利用によるトラブルの、被害者にも加害者にもならないような児童生徒を育成します。	児童生徒がスマートフォン等の情報機器を適切に利用できるよう、年齢に応じた家庭での利用ルールづくりの必要性について啓発を行う。一人一台端末の環境下で実施される授業での端末活用に合わせ、全教科を通じてネットトラブルなどを未然に防ぐ情報モラル教育の充実を図ります。		0	教育指導課
成果(取組)目標		一人一台端末の環境下で実施される授業での端末活用に合わせ、各校で引き続き適宜情報モラル教育を行う。端末を家庭でも利用するため、利用方法に合わせたモラル教育を実施します。				

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	5 健やかな体の育成

■具体的な施策

21 体力の向上と健康の保持増進【教育指導課】				
子どもたちの体力向上を図るために、日々の体育科学習の授業改善を推進します。また、運動に対する愛好的態度の向上をめざし、学校での休み時間等に進んで運動ができるよう取り組みます。 中学校の部活動では、専門性をもった指導員の配置や支援員の派遣を行い、生徒の競技力等の向上を図ります。 さらに、健全な生活習慣を身に付けるために、健康診断や調査に基づき、一人ひとりの実態に応じた指導・支援を行うとともに、「早寝・早起き・朝ごはん」運動等の取組を推進します。				
現状と課題	「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果、本市の小学5年生及び中学2年生の新体力テストの結果が、国や県の平均と比べて低い。			
重点的に取り組む視点	特に本市の子どもが弱いとされる体力のうち、柔軟性を向上させる取組を重点的に行います。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
新体力テストの体力合計得点 小学5年生		男子 50.99点	男子 51.38点	男子 55.00点
		女子 52.81点	女子 51.75点	女子 55.00点
新体力テストの体力合計得点 中学2年生		男子 41.86点	男子 43.32点	男子 43.00点
		女子 48.32点	女子 47.54点	女子 50.00点
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	マイ体力アップ事業	子どもたちの体力向上と運動習慣の確立を図ります。	新体力テストの結果において、特に弱いと分析した項目のうち、取組によって効果が期待できる「柔軟性」向上を目指した取組を検討します。	0
成果(取組)目標		・小学校において、体育授業の準備運動の際に、柔軟性を高める運動を重点的に取り入れます。 ・体力向上に向けた取組の成果を、新体力テストの結果に反映させます。		
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	中学校の部活動改革の推進	中学校における休日の部活動の地域移行及び地域連携の在り方を検討することで、子どもたちが多様な活動を体験できる機会を提供し、少子化の中でも将来にわたり活動を継続して取り組むことができる環境づくりを推進する。	本市の実情に応じた部活動のあり方や地域連携・地域展開の取組方針を示した「（仮称）長浜市部活動の地域クラブへの移行推進計画」を策定する。	5,516
成果(取組)目標		・外部指導者を多く配置したり、拠点校型部活動を推進する。 ・コーディネーターを中心に、実証モデルのパターンを確立させる。 ・推進計画策定に向けた取組を推進する。		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
中学校によっては、チーム競技の人数が揃わないために、個人競技またはクラブチームを選択せざるを得ない現状がある。選べる部活がないという寂しさを感じるため、生徒に部活動の選択肢を与えられるための工夫の研究を続けていただきたい。	拠点校型部活動を推進し、自校にない部活動でも、拠点校において活動できる環境を整備します。

基本目標 (教育大綱)	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	5 健やかな体の育成

22 食育の推進【学校給食課】				
学校給食を通じて、子どもたちが「食」に関心をもち、栄養バランスや食の安全性等について正しい知識を身に付け、自分自身の健全な食生活について考えることができる力を養います。また、食文化や食に対する考え方が多様化する中で、様々な食材に関心をもちることができるよう、学校・園、家庭、地域が連携しながら食育の推進に取り組みます。 食物アレルギーに関しても、正しい知識や理解をもつことができるような取組を進めます。				
現状と課題	残さいデータや献立作成会議等での学校園、保護者からの意見等を取り入れ、味や献立の組み合わせを工夫しているが、献立の内容により残菜が多い日がある。残菜への取組は、学校園・家庭とより一層連携していく必要があります。			
重点的に取り組む視点	学校給食は、食育としての生きた教材であるため、創意工夫により魅力ある給食の提供を行います。 食育は、学校園・家庭との連携が不可欠であるため、SNSやキッズビュー、きずなネットなど様々な電子媒体や、給食センターの一般開放、試食会の開催をとおして、啓発と学校給食への理解促進を図ります。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
バランスのとれた食事をすることは大切だと思っている児童・生徒の割合（食育アンケート）		小5 98.0%	小5 98.5%	小5 100.0%
		中2 99.1%	中2 96.4%	中2 100.0%
朝食を毎日食べる児童・生徒の割合（食育アンケート）		小5 90.6%	小5 91.2%	小5 93.0%
		中2 86.1%	中2 80.7%	中2 86.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	学校給食を通じた食育の推進	学校給食を食育教材として活用し、子どもたちが健全な食生活を自ら営むことができる知識を養えるようにする。	ランチメッセージ、献立表等による食育に関する情報提供、幼稚園・小学校の給食時間等を活用した食育指導を行う。SNSやキッズビュー、きずなネット等を活用し、家庭への食育に関する情報発信を行います。	0
成果(取組)目標		全幼稚園、小学校への給食時間を活用した食育指導による子どもたちの食の知識、興味関心を促します。各学校園のPTA代表参加の献立作成会議や給食試食会、給食センター一般開放において、調理工程や異物混入防止対策等の動画視聴の機会を設定し、学校給食への理解を深める。保護者向けに、給食センターの取組や食育について情報配信を行います。		
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	学校給食の提供	栄養バランスを考えた給食を提供し、心身ともにバランスのとれた子どもたちの育成に寄与する。また、食物アレルギーを有する子どもたちにも安心・安全な給食を提供する。	「学校給食栄養摂取基準」に基づき栄養バランスの取れた給食と、郷土食・リクエスト給食など特色ある給食を計画的に実施しながら、安全安心な学校給食を提供する。アレルギー対応者へアレルギー対応食を確実に提供する。小学校に在籍する児童の保護者に対し、学校給食費の全額を補助します。	540, 603 うち小学校給食費補助 (258, 250)
成果(取組)目標		年間193回の給食実施日において、安全安心な学校給食を安定的に提供します。アレルギー対応者への学校給食センターからの学校給食提供によるアレルギー事故をゼロとします。		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
朝食を毎日食べる児童・生徒の割合のうち、朝食を食べないと回答した児童・生徒について、食べない理由は家庭事情等によるものなのか、その背景を検証されているのか。	朝食アンケートの趣旨は、児童への食育指導の資料とするため、朝食を食べない理由の選択肢は、①食欲がない②時間がないの2択としている。よって、令和7年度も同じ選択肢とするが背景の把握について、できる範囲で学校と連携します。
児童・生徒に向けて、給食の残菜がその後どうなっていくのかを、ポスター等でわかりやすく啓発する取組みは、給食の残菜を減らすために有効と考えるため、今後も続けていただきたい。	引き続き、残菜が少なくなるよう様々な機会をとらえ、見える化した取り組みを行います。

基本目標 (教育大綱)	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	6 子育て支援体制の充実

■具体的な施策

23 「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」の推進						
長浜の未来を切り拓き、次代を担う子どもたちを育て導くために、「めざす子ども像」を掲げ、「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」を子育て・教育の基盤に据えて、学校・家庭・地域及び関係機関、団体等の連携による教育環境づくりの取組を推進します。						
現状と課題		児童・生徒への啓発とともに、保護者や地域住民へのさらなる浸透や普及が課題です。				
重点的に取り組む視点		児童・生徒や保護者の意見を参考に、より効果的な取組や機会を探り普及に取り組みます。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」の保護者・地域・各団体への周知、啓発回数		91回	155回	100回	100回	
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」推進事業	「長浜子どものちかい・長浜子育て憲章」が子育て・教育の基盤として定着することを目指します。	様々な媒体を活用し、各校園、保護者、地域、関係機関・団体と連携して周知・啓発に継続して取り組み、児童・生徒、保護者や地域への普及に努めます。		35	教育改革推進課
成果(取組)目標		各校園、関係機関・団体との連携等により、啓発を実施します。				

24 学校運営協議会の推進【教育指導課】					
「地域とともにある学校」の考えのもと、各校が学校運営協議会と連携を図りながら、保護者や地域の人の参画を得、その意見が反映される学校運営を進めます。また、学校・家庭・地域社会が一体となって、よりよい教育の実現に向けて取り組み、地域の創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めます。					
現状と課題		全ての学校で学校運営協議会を実施し、特色ある学校づくりを進めている。しかしながら、導入から10年以上が経過しているため、協議会が形骸化している部分も散見されます。			
重点的に取り組む視点		コミュニティ・スクールの果たすべき役割や機能を再度理解するため、学校運営協議会の研修の充実を図り、校区での情報交換や交流を行う。また、モデル地域で進めている地域と学校の連携と協働の仕組みと体制づくりの取組を拡充することで、地域とともにある学校づくりを進めます。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
地域とともに進めるよりよい学校づくり満足度 （長浜市民満足度調査）		3.39点	3.15点	3.50点	3.50点
事業名または取組名		目的	概要		予算 （千円）
継続	学校運営協議会の推進	地域に開かれた学校づくりのため、学校運営協議会の充実を図ります。	学校運営協議会研修会を実施するなどして、各校園の学校運営協議会の取組について情報交換を行うとともに各協議会の交流を図ります。		0
成果(取組)目標		研修等を通じて、各校の委員がコミュニティ・スクールについての役割や果たすべき機能についてより深く理解し、各校の取組に活かすことができます。			

基本目標 (教育大綱)	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	6 子育て支援体制の充実

25 子どもの安全を見守る体制づくりの推進【教育指導課】

学校・家庭・地域が連携しながら、地域全体で子どもたちの安全を見守る体制づくりを進めます。特に、スクールガード登録者数の増加を図るために学校との連携を密にしながら、その活動を支援するとともに関係機関との連携を推進します。

現状と課題	各小学校におけるスクールガードの登録者数が減少傾向にある。また、高齢者の登録も多いため、若年層の登録を増やすことも今後の課題です。
重点的に 取り組む視点	スクールガードの登録人数を増やして、子どもたちの安全な登下校を見守る体制を強化します。

指 標（進捗管理目標）	計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
スクールガードについて、次のいずれかを充足した小学校数 ・スクールガード登録率（登録者数/児童数）25%以上 ・通学距離・危険箇所での必要人数率 （登録者数/必要数）100%以上	22校 (25小学校中)	18校 (25小学校中)	25校 (25小学校中)	25校 (25小学校中)

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続 スクールガード活動 の支援	子どもたちの登下校の安全確保を図ります。	スクールガードへの登録を促進するとともに、活動に必要な物品配布等の支援を行います。	1,052	教育指導課
成果(取組)目標	スクールガードが安全かつ快適に子どもたちの安全を見守ることができるよう必要な物品の配布等の支援を行います。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
スクールガードは、児童の登下校の安全確保をおこなうために、なくてはならない存在であると考えます。登録者数の維持、増加を目指すため、長く活動していただいている方に賞賛を送る仕組みがあると、より意欲的に活動していただけるのではないかと。	市の公式SNSや広報ながはま、学校通信などで広く、活動について周知し、市民にその意義を理解してもらえよう努めます。

基本目標 (教育大綱)	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	6 子育て支援体制の充実

26 児童虐待の早期発見と支援の充実【こども家庭支援課】					
学校・家庭・地域社会が連携・協力することにより、子どもの人権の尊重と安全・安心な環境を作ります。 児童虐待防止のための相談窓口や啓発活動を進めるとともに、児童虐待の早期発見、早期対応を図るため、関係機関のネットワーク強化を図ります。 各種相談体制や訪問事業等の子育て支援の体制整備を図ります。					
現状と課題	自身が身を置く家庭環境において、十分な養育が受けられない、またはその環境に困り感や悩みを抱えるこども、どこに相談したらよいか分からない子どもや養育者がおられます。				
重点的に 取り組む視点	・地域資源を活用しながら、子どもが信頼できる大人との出会いや健やかな育ちを支える場をつくります。 ・子どもも養育者も悩みや困りごとを発信できる身近な相談窓口を幅広く周知していきます。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
児童虐待に関する啓発回数		9回	17回	15回	15回
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	子ども虐待DV防止支援事業	児童に対する虐待の防止、児童虐待の予防およびDVの早期発見、早期支援に関する施策を推進し、児童の権利利益擁護や女性の支援に資する。	長浜市要保護児童及びDV被害者対策地域協議会を運営し、要保護児童の早期発見や早期支援に係る取組（出前講座、児童虐待防止研修、啓発活動）を実施します。	782	こども家庭支援課
成果(取組)目標		長浜市要保護児童及びDV被害者対策地域協議会の運営 実務者会議 毎月、拡大実務者会議 2回/年、代表者会議 2回/年			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
拡充	子どもの居場所づくり促進事業	児童虐待のリスクの高まりを踏まえ、子育て世帯が孤立しないよう支援するため、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげる体制の強化を推進し、子どもの居場所づくりを促進する。	子育て世帯訪問支援事業、子育て短期支援事業、支援対象児童等見守り強化事業を実施します。	13,165	こども家庭支援課
成果(取組)目標		・子育て世帯訪問支援事業：延べ利用回数 120回 ・子育て短期支援事業：延べ利用日数 25日 ・支援対象児童等見守り強化事業：延べ利用世帯 15世帯			

基本目標 (教育大綱)	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	8 人権尊重の社会づくりの推進

■具体的な施策

27 保育サービスの充実【幼児課】					
社会情勢や子育てに対する意識の変化等による保育ニーズが多様化している中、全ての就学前の子どもに、その発達や家庭状況に応じた教育・保育を提供するため、待機児童の解消に繋げるとともに、子どもや子育て家庭に必要かつ良質なサービスの提供及び教育の充実に向けた、環境整備を図ります。					
現状と課題		・子育て支援体制の充実のため、全園で未就園児広場の開催や子育て専門相談員を配置している。 ・低年齢児層の待機児童が発生しており、入所希望児童の低年齢化や長時間保育により、必要保育士数の増加が見込まれます。			
重点的に取り組む視点		・子育て専門相談員の意見交換会や研修会を実施し、支援体制の充実を図ります。 ・保育士不足が解消されていない現状を鑑み、2つの支援策（奨学金返還支援、居住支援）の継続実施と潜在保育士の就職支援等を行います。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
保育所・認定こども園（長時部）の待機児童数		35人	11人	0人	0人
事業名または取組名		目的	概要	予算 （千円）	担当課
継続	子育て支援事業	園児及び地域の未就園児とその保護者を対象に、保護者同士の交流の場を提供したり、子育て相談を行うことで、子育てへの安心感や親としての喜びや充実感を感じることが出来ます。	公立19園において子育て専門相談員の子育て相談及び未就園児広場を開催する。こども家庭支援課と連携し、園における地域の子育て支援機能を強化します。	5,508	幼児課
成果(取組)目標		・子育て専門相談員の意見交換、研修機会の充実に取り組みます。 ・子育て支援センターとの連携を図り、未就園児広場開催回数の増加に取り組みます。			
事業名または取組名		目的	概要	予算 （千円）	担当課
継続	保育人材確保対策事業	保育の担い手となる保育士等の人材を確保することにより、待機児童の解消につなげます。	2つの支援制度（奨学金返還支援、居住支援）を継続や潜在保育士等の就労支援を行うことで、保育人材を確保を図ります。	11,043	幼児課
成果(取組)目標		・支援制度の継続や保育士の就労支援に取り組むことで人材確保を図ります。 ・保育士等採用試験受験者の増加を図るため、保育者養成校との連携強化等に取り組みます。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
保育士確保対策関連補助金について各種支給されているが、支給対象の保育士の3年後の定着率（離職率）等の改善効果について、検証をされているのか。	結婚による転居等やむを得ない理由で退職するケースもあります。引き続き、支給対象保育士の動向を注視していきます。
会計年度任用職員の保育士の中には、正規職員と遜色ない力をもっている保育士もおられると認識しているため、個々の事情があるのは承知しているのが、力をもっている保育士が正規職員を目指す理由を検証する必要があるのではないか。	個別の支援に携わりたい、正規職員の業務負担が大きい等の理由により、会計年度任用職員を選択する職員もいます。園の業務改善の取り組みを通して、正規職員として働くことへの魅力を高めていきます。

基本目標 (教育大綱)	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	8 人権尊重の社会づくりの推進

■具体的な施策

28 ひとり親家庭への支援【こども家庭支援課】						
母子・父子自立支援員をこども家庭支援課に配置し、生活全般の相談を行います。また、同じ悩みを抱える人の交流や相談の場について紹介します。						
現状と課題		ひとり親家庭の生活の安定のため、離婚前から支援を行い、継続的な支援を行う必要があります。				
重点的に取り組む視点		ひとり親の経済支援の一助となるよう、養育費に関する相談等を行います。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
ひとり親家庭の相談件数		2,122件	2,300件	2,500件	2,500件	
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	ひとり親家庭支援事業	ひとり親家庭の生活の安定と向上のための支援を行います。	ひとり親家庭自立支援教育訓練補助事業等、各種補助事業を行うほか、ひとり親家庭に対し、就労相談や生活全般の相談、離婚前相談を行います。		4,623	こども家庭支援課
成果(取組)目標		ひとり親の精神的・経済的自立を図るため、相談者に寄り添った支援、相談を行います。				

29 放課後児童クラブの充実【こども家庭支援課】						
放課後児童クラブが、保護者の仕事と子育ての両立を支援し、子どもたちが安全で楽しく過ごせる場所となるよう、学校、地域、関係機関が連携し増加するニーズに応じた施設を確保するとともに、運営の充実を図ります。						
現状と課題		児童数は減少しているものの、ニーズ（放課後児童クラブへの通所申込児童数）は増加しています。				
重点的に取り組む視点		公設児童クラブの支援員確保や運営場所の確保に努めると共に、民間児童クラブの児童受け入れ促進を図り、市域全体の受入れ体制の充実に努めます。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
放課後児童クラブの待機児童数		214人	0人	0人	0人	
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	放課後児童クラブ運営事業	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。	放課後の子どもの居場所を確保するため、放課後児童クラブを実施します。		778,044	こども家庭支援課
成果(取組)目標		放課後児童クラブの待機児童数を0人とします。				

基本目標 (教育大綱)	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	6 学校・家庭・地域による教育環境づくり

■具体的な施策

30 人権学習・啓発等の推進【人権施策推進課】						
全ての人がお互いの「個性」を尊重し、多様性を認めあい、互いに支えあいながら人権が尊重される社会の実現をめざして、人権をめぐる今日の社会情勢を踏まえた人権学習・啓発等を推進し、学校・地域・家庭・企業・関係団体等が協力しあい、人権意識の高揚を図ります。 既存の人権問題の変化や、インターネットにおける人権問題やセクシュアルマイノリティの人権問題といった新たな人権問題等、時代の変化にあわせた人権啓発の取組を進めます。						
現状と課題		自治会の人権学習会は、自治会、地域事務局、行政が連携し、自治会が主体的に実施してきたが、開催手法や参加者の確保など苦勞されている自治会は少なくない。市主催のじんけん連続講座等も含めて、日頃人権について関心の低い層に対して、どのように啓発し、巻き込んでいくかが課題となっています。				
重点的に取り組む視点		市内全ての自治会での人権学習会の実施及び各地域の人権のつどいが実施できるよう、テーマ選定、資料提供、講師情報の提供など全面的な支援を行う。また、幅広いテーマによるじんけん連続講座を開催し、市民の人権意識の向上を図ります。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
自治会での人権学習会の評価（5段階評価）		4.6	4.1	4.8	4.8	
事業名または取組名		目的	概要		予算 （千円）	担当課
継続	人権尊重都市推進事業	人権が尊重される社会の実現をめざします。	自治会における人権学習会及び地域人権学習協議会における地域人権のつどいの開催並びに街頭啓発の実施など広く人権学習・啓発を推進します。		3,845	人権施策推進課
成果(取組)目標		地域人権学習会実施評価4.6以上（5段階評価）				
事業名または取組名		目的	概要		予算 （千円）	担当課
継続	じんけん連続講座事業	人権尊重のための知識をより一層養います。	様々な人権テーマを題材に、多くの市民が人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別解消に向けた理解を促進します。		83	人権施策推進課
成果(取組)目標		市民協働事業（市民団体による人権講演会等の開催）と連携し、異なるテーマによるじんけん連続講座を年4回以上実施します。				

基本目標 (教育大綱)	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	6 学校・家庭・地域による教育環境づくり

31 男女共同参画に関する学習機会・啓発等の推進【人権施策推進課】

男女の人権が尊重され、一人ひとりが地域や家庭・職場等、社会のあらゆる分野でいきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現をめざして、学習機会の提供や意識啓発等を推進します。

現状と課題	男女共同参画市民意識調査結果(R3)より多くの分野で「男女平等ではない」と感じる人が多かった。また希望する職種・業種の求人が地域内で少なく、就労意欲が高い女性であっても地域での就労につながっていないこと、家事・育児・介護の多くの部分を女性が担うことによる家庭と仕事の両立に対する不安感などがあり、働く場においての女性が活躍できる環境づくり、男性の家事育児参画など家庭、地域、職場で男女がともに主体的に関わることができる環境づくりが必要です。
-------	--

重点的に 取り組む視点	女性一人ひとりが自分に合った働き方ができる就労の支援や、男性や様々な年齢層に合わせた啓発等を行い、男女共同参画・女性活躍に対する意識の醸成と理解の深化を図ります。
----------------	---

指 標 (進捗管理目標)	計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合（男女共同参画に関する市民意識調査）	58.9%	—	70.0%	70.0%

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続 長浜ジョブカフェ事業	地域・家庭・職場等様々な場面で、女性が活躍できる社会の実現を目指します。	セミナーや交流会等の女性活躍推進事業を実施するとともに子育て世代の居場所づくり、仲間づくりの場を総合的に提供し、女性の起業や活動につながる支援をします。	750	人権施策 推進課

成果(取組)目標	長浜ジョブカフェ事業における行動率 70%（行動率：開業・事業開始した人数/受講者合計）
----------	--

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続 男女共同参画啓発事業	性別に関係なく一人ひとりがいきいきと活躍できる社会の実現をめざしていきます。	街頭啓発や研修会、ワークショップ等男女共同参画啓発事業を実施し、男女共同参画の意識の改革を進めます。	600	人権施策 推進課

成果(取組)目標	男女共同参画の意識向上のため、男性の家事育児参画のきっかけづくりとして、男性（父親及び祖父）をターゲットにした啓発講座を2回開催します。
----------	--

基本目標 (教育大綱)	4 地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てます
施策の基本的方向	9 地域の伝統・歴史・文化の継承

■具体的な施策

32 文化財の調査と保護の推進【文化観光課（歴史まちづくり室）】					
本市には、未指定を含めた多様な文化財が数多く存在し、それら貴重な文化財を市民の財産として親しまれるよう、積極的に基礎的な調査と資料整理を行うとともに、文化財指定等を通じて文化財保護に努めます。 市内の文化財の写真・解説・伝統行事等のデジタル化を進め、データベース化し歴史文化資産として活用することに努めます。 歴史文化発信の基礎となる資料の収集に取り組むとともに、個人や地域で守れなくなった文化財を保存する収蔵庫については、既存施設の再編等を進める中で収蔵スペースを拡大し、適切な保存環境の確保に努めます。					
現状と課題	本市には、479件（R7.2月時点）の指定文化財と830件の埋蔵文化財が分布しています。しかし、少子高齢化や後継者不足、相続の問題等、文化財を維持していく環境は厳しさを増しています。課題は、文化財を地域で守る体制、総合的な文化財の把握、他計画との連動、資金の調達、保存・活用施設の役割、人材育成と技術者の養成、文化財の普及啓発があげられます。				
重点的に取り組む視点	文化財を後世に繋げるため、文化財の調査や修理、伝承、管理に努めます。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
指定文化財の件数		453件	479件	484件	459件
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	名勝慶雲館庭園保存整備事業	国指定名勝である慶雲館庭園の整備を進めます。	令和7年度は植栽修復剪定、庭園整備を行います。	7,999	文化観光課 (歴史まちづくり室)
成果(取組)目標		作庭から時間が経ち、変化してしまった慶雲館庭園を作庭当初の姿に復旧するための事業を継続して行います。			

基本目標 (教育大綱)	4 地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てます
施策の基本的方向	9 地域の伝統・歴史・文化の継承

33 歴史文化の継承【文化観光課（歴史まちづくり室）】						
市民が自分たちの地域の歴史や文化を通じて郷土を愛する心と豊かな情緒を培い、歴史文化が市民にとってさらに身近なものになるよう、関係機関と連携し、学校の授業や地域を対象に、歴史講座や伝統文化の体験学習等を開催します。 地域の文化財を後世に伝えるため、文化財を地域で守る体制を確立し、保存活用団体等の活動を支援します。さらに、文化財を歴史文化遺産として市内に点在している文化財をジャンルやエリアで一体として捉え、保存活用する体制を進めます。 歴史文化を学び、語り伝える人材を育成する為、歴史文化に関する学習機会を提供します。また、文化財の保存・修理に関わる技術者養成の支援を行います。						
現状と課題		過疎化や少子高齢化にともなう担い手不足により、地域における文化財の減失や散逸の危機に直面している。市民や子どもたちが郷土の歴史や文化を学ぶ機会は、博物館・資料館が各館友の会と共催で実施しています。				
重点的に取り組む視点		地域の歴史・文化、文化財は地域のつながりの中に存在しているため、地域住民が「自分たちの文化財」として捉え、主体的に継承活動に参加することが重要である。博物館・資料館での教育普及活動等を通して郷土への愛着と誇りを持つことのできる機会を提供します。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
地域にある文化財を保護・活用する保存活用団体等の数		1件	1件	3件	3件	
事業名または取組名		目的	概要		予算 （千円）	担当課
継続	博物館・資料館における教育普及事業	市民や子どもたちが長浜の歴史・文化を通じて、郷土への愛着と誇りを持つことのできる機会を提供します。	博物館・資料館において、長浜市の歴史や文化をテーマとした魅力ある講演会や現地研修、体験学習等を各館友の会と共催で実施します。		0	文化観光課 （歴史まちづくり室）
成果(取組)目標		長浜城歴史博物館・浅井歴史民俗資料館・高月観音の里歴史民俗資料館において魅力ある教育普及事業を実施します。				

34 歴史文化の活用と情報発信【文化観光課（歴史まちづくり室）】						
観光や地域振興等、他の部署と連携を図り、歴史文化を活かしたまちづくりを推進します。 資料館を地域の歴史文化を活かした住民主体の魅力ある地域づくりの活動拠点として体制の強化を図ります。 各歴史文化施設の特性を生かしながら、その地域の歴史文化や先人をテーマにした展覧会・講演会・見学会等を行い、これらを刊行物やインターネットを活用して情報発信することで、本市の魅力を広く内外に周知する機会を増やします。						
現状と課題		各歴史文化施設は開館から数十年が経過している施設が多く、躯体の老朽化が顕著である。また、個人や集落で管理できなくなった資料の寄託・寄贈が増え続けているが、収蔵庫はほぼ満載状態である。収蔵できない資料は廃校となった学校施設等を利用しており、収蔵品の適正な保存環境の確保や管理が難しくなっています。				
重点的に取り組む視点		湖北・長浜に関する資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及活動を通して、地域のアイデンティティの根幹をなす「地域の歴史と文化」を広く市民や子どもたちに伝え、より深く知る機会を提供することで、地域愛や誇りを醸成します。また、地域博物館・資料館として、歴史や文化による地域振興、観光振興へ寄与します。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値	
長浜城歴史博物館の入館者数		99,481人	85,000人	130,000人	130,000人	
事業名または取組名		目的	概要		予算 (千円)	担当課
継続	博物館・資料館における展覧会の開催	博物館・資料館における展覧会や教育普及活動等を通して、地域のアイデンティティの根幹をなす「地域の歴史と文化」を広く市民や子どもたちに伝え、より深く知る機会を提供することで、地域愛や誇りを醸成します。	湖北・長浜の歴史文化や人物などに関する展覧会や、市民の関心が高い時宜にかなった展覧会を開催し、長浜市が持つ歴史の多様性や魅力を広く紹介します。		8,027	文化観光課 (歴史まちづくり室)
成果(取組)目標		長浜城歴史博物館・浅井歴史民俗資料館・高月観音の里歴史民俗資料館において魅力ある展覧会を開催し、各館の入館者数増を目指します。				

47

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

■具体的な施策

35 誰もが学べる場の提供【生涯学習課】					
市民の身近な学びの場として、まちづくりセンターや文化ホール、体育施設、図書館等が主に活用されることから、各施設の立地環境や地域の特性に応じた、市民が取り組みやすい学びの場を提供するよう努めます。					
現状と課題	すべての地域のまちづくりセンター等において、地域の文化や歴史、自然などを生かした体験活動や学習活動など多様な生涯学習事業を実施している。子どもから大人まで地域全体で学びを推進していく体制を整えていく必要があります。				
重点的に取り組む視点	まちづくりセンター等を地域の学びの拠点として活用し、主体的な学びを通じて自己成長し、つながりを深め、学びの成果を地域に生かしていくことで、学びの充実と地域の活性化がよい循環となるような生涯学習を推進します。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
地域に根ざした生涯学習事業（学びと生涯学習のまちづくり推進事業）の計画講座数		429講座	380講座	460講座	460講座
子ども学び座の計画講座数 →上段に統合		—	—	—	—
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	子ども学びと生涯学習のまちづくり事業	地域における生涯学習拠点を活用し、地域の特性を活かし市民ニーズに応じた生涯学習機会を提供します。	全地域のまちづくりセンター等で、子どもから大人までの生涯学習講座を実施します。	2,640	生涯学習課
成果(取組)目標		多種多様な生涯学習講座や異世代間交流事業などの学びの場を通して、地域への誇りや愛着を育み、人づくり、つながりづくり、地域づくりの機会を提供する。			

36 多様な学びの機会の提供【生涯学習課】					
各年齢層や性別によって学びの関心や重要度も異なることから、あらゆる世代に対応できるような学習種別と機会の提供に努めます。また、市民にわかりやすく系統立ったプログラム編成をめざします。					
現状と課題	各地域において子どもから大人までの生涯学習事業を実施している。年代によって求める学びの内容が異なるため、ニーズに応じた講座内容の充実が必要です。				
重点的に取り組む視点	地域の高校や大学、企業、市民活動団体、NPOなど多様な組織や団体との連携・協働を推進しながら、多様な学びの機会を提供します。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
生涯学習講座（学びなおし講座）の計画講座数		9講座	5講座	12講座	12講座
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	地元先生育成プロジェクト	大学等の高等教育機関やまちづくりセンター等の社会教育施設において、専門的な学習機会の提供を行い、学んだ知識を次世代の地域人材へ伝えられる人を育成します。	地域の大学や市内県立高等学校等と連携し、学びから地域で活躍する人材の育成を図る講座を実施します。	200	生涯学習課
成果(取組)目標		身近な地域資源を楽しみながら学ぶことで、地域の魅力を再発見し、学んだ知識を次世代の地域人材に伝えられる講座を行います。			

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

37 学びを深める人づくりの支援【生涯学習課】					
学びを深め広げるには、多様な知識や考えを持った多くの人材を必要とします。知識や技能を習得するばかりでなく、他の機会に共有できる仕組みづくりに努めるとともに、長浜を愛し、地域づくり活動へつながるよう支援していきます。					
現状と課題	リーダー育成事業については実施地域が限られていたことから、令和7年度からは「地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業」に統合する。幅広い地域住民や団体の参画を得ながら、地域と学校が連携・協働して多様な活動を行うことで将来を担う人材の育成へとつなげることが必要です。				
重点的に 取り組む視点	子どもたちが地域との関わりを通して多様な経験を積むことで、主体的に課題を発見し、その解決に取り組む力を育みます。 地域住民が自らの経験や知識を子どもの学びに生かすことで、子どもの学びを軸に地域のつながりを深め、地域コミュニティの促進を図ります。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
リーダー育成事業 目標人数に対する参加率		80.0%	80.6%	90.0%	90.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
拡 充	地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業	地域住民や地元団体など、多様な主体の参画を得ながら、子どものたちの地域での学びを通した「生きる力」を育成します。	地域学校協働活動推進員を配置し、地域と学校の連携による学びや活動を行います。	775	生涯学習課
成果(取組)目標		子どもの学びを軸に、ゆるやかなつながりによる地域コミュニティの促進を図り、学校と地域とが連携・協働して子どもの「生きる力」を育む学びや活動を実施します。			

38 学びのための情報発信【生涯学習課】					
学びの機会を設けたときは、適切に周知することが必要です。地域や対象等、適切な範囲に適切な情報提供を行います。					
現状と課題	生涯学習情報誌「生涯学習のおさそい」を発行し、紙媒体と市ホームページで周知をしている。また、県の生涯学習情報サイト「におねっと」と連携し情報を発信している。必要な人に必要な情報を、適切な媒体で届けることが必要です。				
重点的に 取り組む視点	生涯学習講座などの学習情報について、必要な時に必要な情報が入手できるよう、様々な手段を活用して効果的な発信を図ります。				
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継 続	学びの機会や場の情報提供	市民が様々な手段で生涯学習講座などの情報を得る機会をつくる。	市学習情報誌「生涯学習のおさそい」を発行し、市ホームページに掲載する。また、県の生涯学習情報サイト「におねっと」と連携し、情報発信を行います。	0	生涯学習課
成果(取組)目標		誰もが自分の希望する講座を探すことができるよう、紙媒体の見出し等を工夫し、市ホームページの情報を定期的に更新します。			

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

39 図書館サービスの充実【生涯学習課（図書館）】					
市民の多様で高度な資料要求に応え、市内全域にサービスを届けるために、中央図書館機能を持つ長浜図書館を要として各図書館が一体となった体制を確立します。また、レファレンス機能を強化し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かい資料提供をおこなうことで、市民が暮らしの中でより身近で便利に図書館を利用できるようサービスの充実に努めます。					
現状と課題	各館が規模と特徴に応じた蔵書構築を行いつつ、多様化・高度化する市民の資料要求に迅速かつ的確に応えることが必要であり、またそれらを担う専門職として司書のスキルアップを図る必要があります。				
重点的に取り組む視点	市民の知的好奇心を喚起する書架づくりとともに、市民の要求に応えるための蔵書構築に取り組む。レファレンスサービスは市民への調査研究支援に不可欠であるため、資料収集と職員研修を強化します。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
レファレンス事例のホームページ公開件数		—	15件	15件	15件
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	レファレンス事例の公開	カウンター等で受け付けた質問の調査事例を公開することで、レファレンスサービスを広く周知し、活用の促進を図ります。	レファレンス事例を図書館ホームページに公開します。	0	生涯学習課 (図書館)
成果(取組)目標		蓄積したレファレンス案件の中から、湖北地方の事例（地域・郷土）やそれ以外の一般事例を公開することで、市民の興味関心を喚起するとともに、調査・研究の手助けになるよう図書館ホームページ上で公開します。			

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

40 図書館を情報拠点とした市民の学習活動の支援【生涯学習課（図書館）】

市民の知る自由を保障するため、誰もが図書館サービスを利用してあらゆる学習活動を深めることができ、地域の活性化・暮らしの豊かさにつなげるための情報拠点となるよう、市民に役立つ資料を充実させ、市民の学習活動の場を提供します。そして、これらの成果を情報として蓄積し、新たな学習活動につなげていきます。

現状と課題	市民に役立つ資料の整備をはじめ、身近なテーマでの本の展示、読書に関する行事など、様々な手法で資料提供をおこなってきた。さらに行事や本の展示の充実だけでなく、市民一人ひとりに寄り添った資料収集や資料の提供方法を提案していく必要があります。
重点的に取り組む視点	それぞれの人に合った資料や方法で図書館サービスを届ける必要があります。

指 標（進捗管理目標）	計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
図書館における貸出冊数	873,970冊	813,619冊	1,300,000冊	1,300,000冊

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続 資料の充実	将来にわたって市民の生涯学習の拠点としての役割を果たすために、地域に関する資料や暮らしに役立つ資料、知識を深める資料を幅広く計画的に収集し提供します。	各館の規模や特徴に応じた蔵書の構築を年間を通じて計画的に行います。	30,312	生涯学習課 (図書館)

成果(取組)目標	市民の暮らしに役立つ図書館として常に新鮮な書架となるよう、購入した資料を市内の図書館に配本します。
----------	---

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続 資料および学習機会の提供	暮らしや仕事、生活に役立つ資料を提供することで、市民の学習活動を支援し、豊かに生きるための学びの機会を推進します。	市民のニーズに合った資料を適切に提供する。また、様々な市民活動や市の政策と関連した展示をおこなうなど、興味関心を広げるきっかけとなるような情報提供を行います。	0	生涯学習課 (図書館)

成果(取組)目標	他機関とも連携して幅広いテーマ展示で資料を紹介することで、市民の生涯学習や課題解決につながる機会を作ります。
----------	--

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

4 子どもの読書活動の推進【生涯学習課（図書館）】				
読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。そのため、子どもたちが幼児期から読書習慣を身に付けることができるように、学校・園、家庭、地域が連携・協働体制をとり読書環境の整備を進めます。				
現状と課題	小中学生ともに読書冊数が減少傾向にあり、特に中高生に対しては図書館や本に興味関心を抱くきっかけとなるような取組をする必要がある。また、子どもたちそれぞれの多様な特性に適した本に親しめる環境づくりを継続してすすめる必要があります。			
重点的に取り組む視点	すべての子どもたちが本に親しめるよう、環境や多様性に応じた読書環境の整備や働きかけを進めていきます。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
1 か月間の読書冊数が1冊以下の割合 ・小学4年生から6年生		8.8%	14.4%	7.5%
1 か月間の読書冊数が1冊以下の割合 ・中学生		33.9%	48.6%	15.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	「つなごう 子どもと本・のばそう けやきっ子」推進事業	読書を通じて市の木けやきのようにのびのびと豊かに生きる長浜の子「けやきっ子」を育む。	・4か月児健診でブックスタートをおこない、乳幼児期から絵本と親しむ家庭環境を整備します。 ・申込のあった小中学校へ本を提供する団体貸出により、子どもの身近に本のある環境を整備します。 ・多様な背景をもつ子どもたちが読書を楽しむための資料の収集・利活用を進める。 ・子どもの読書活動に理解と関心が深まるよう大人への情報発信と啓発を行います。	1,954
成果(取組)目標		子どもたちの特性に応じた資料の収集・利活用や、年齢に合わせた読書支援を継続して行います。		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
中学生の1 か月間の読書冊数が1冊以下の割合について、目標値を26.3%（R4）から30.0%（R5）に増やしているが、割合を増やしていくことが目標であると、本来の趣旨とは逆に捉えられてしまうのではないか。	中高生世代の不読率が高まっており、現状値と目標値の乖離があるため、実情に合わせて設定しました。中学生の読書冊数を増やせるよう、引き続き学校などと情報共有しながら読書の楽しさを体験する取組を進めます。

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	11 文化・芸術の創造と振興

■具体的な施策

42 文化芸術の鑑賞の充実と創作・発表・交流活動への支援【文化スポーツ課】

市民が文化芸術に興味や関心をもち、心豊かな暮らしが実現できるよう、幅広い年齢層を対象に様々なジャンルの質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供します。また、多くの市民が創作や発表等、文化芸術活動を通して自己実現するとともに、お互いの交流を深め、多彩な地域文化を育むことができるよう支援を行います。

現状と課題	市内の文化ホールを適正かつ有効に運営および管理していくため、指定管理者による運営管理を導入し、適切な施設管理と設備や地域特性に応じた文化事業が展開できるようにする。
重点的に 取り組む視点	文化ホールなど様々な文化芸術の鑑賞事業を展開していくことと併せて、市内の小中学校等にアーティストや長浜市文化芸術ユース会議などの文化芸術団体等が出張で訪問し、演劇や音楽公演、人形劇、和楽器演奏体験などの様々な文化芸術メニューを届ける「アウトリーチ事業」を積極的に進め、市民が幼少時期から文化芸術に触れる・体験できる機会の充実を図り、理解や興味を深めます。 また、市民自身が文化芸術を体験や披露できる機会を創出するために、市民参加型の舞台公演や音楽祭、美術展等を実施します。

指 標 (進捗管理目標)	計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
長浜市文化芸術ユース会議実施イベントの参加者数	812人	3,183人	2,000人	900人
自校主催の吹奏楽演奏会を開催している中学校の数	4校	4校	5校	5校

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続 文化芸術活動振興事業	市民の文化芸術活動を支え、文化芸術事業を推進することにより、魅力ある地域として「市民の心の豊かさ」と「まちの活性化」に繋がります。	市民が文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術により地域の活性化を図るため、様々な文化芸術事業の実施を委託する。文化芸術団体の運営および活動を補助します。	16,271	文化 スポーツ課

成果(取組)目標	次代の文化を担う子どもや若者の感性や創造力を育むため、文化芸術に触れ、鑑賞や体験、発表できる機会を提供します。 ・アウトリーチ事業：50事業以上 ・次世代向け公演等の実施数：5事業以上 文化芸術活動の裾野を広げるため、多くの市民が文化芸術に親しめ、参加できる機会を提供する。 ・市民参加型文化芸術事業の実施数：5事業以上
----------	--

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続 ユース芸術文化活動振興事業	若者たちが、主体的に文化芸術事業を企画・運営する中で、それらの活動を通じ、次代を担う子どもたちをはじめとする市民が気軽に文化芸術活動に触れることができる環境整備を図ります。	40歳以下のアーティスト等が組織する長浜文化芸術ユース会議に対し、子ども芸術体験(学校派遣)アウトリーチ事業や人材育成事業の委託、舞台芸術制作事業等への補助を行います。	1,189	文化 スポーツ課

成果(取組)目標	子ども芸術体験(学校派遣)アウトリーチ事業や演劇ワークショップなどの人材育成事業、舞台芸術制作事業を積極的に実施し、若者たちが文化芸術に参加しやすい環境を整えます。
----------	--

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	11 文化・芸術の創造と振興

43 文化施設の活用と文化芸術団体との連携・協力【文化スポーツ課】					
市民の主体的な文化芸術活動を通してまちの活性化をめざすため、文化芸術関係団体の連携・協力を進め、文化施設の有効な活用を図ります。					
現状と課題	市内の文化ホールを適正かつ有効に運営および管理していくため、指定管理者による運営管理を導入し、適切な施設管理と設備や地域特性に応じた文化事業が展開できるようにします。				
重点的に 取り組む視点	長浜市民芸術文化創造協議会や長浜市文化芸術協会、長浜音楽協会、長浜文化芸術ユース会議など市内文化活動団体等と連携し、市民参加型の事業などを積極的に実施することで、文化施設の有効な活用と、文化芸術活動を通じた地域の活性化を図ります。				
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
長浜市舞台芸術交流祭の参加団体数		8団体	10団体	9団体	9団体
長浜市芸術文化祭の参加事業数		54事業	事業廃止	事業廃止	事業廃止
長浜市民芸術文化創造協議会会員数		8団体	9団体	9団体	9団体
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	文化芸術活動振興事業【再掲】	市民の文化芸術活動を支え、文化芸術事業を推進することにより、魅力ある地域として「市民の心の豊かさ」と「まちの活性化」に繋がります。	市民が文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術により地域の活性化を図るため、様々な文化芸術事業の実施を委託する。文化芸術団体の運営および活動を補助します。	16,271	文化 スポーツ課
成果(取組)目標		次代の文化を担う子どもや若者の感性や創造力を育むため、文化芸術に触れ、鑑賞や体験、発表できる機会を提供します。 ・アウトリーチ事業：50事業以上 ・次世代向け公演等の実施数：5事業以上 文化芸術活動の裾野を広げるため、多くの市民が文化芸術に親しめ、参加できる機会を提供する。 ・市民参加型文化芸術事業の実施数：5事業以上			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	市民文化ホール管理運営事業	文化芸術の鑑賞や発表の場として、市内文化ホールを適切に管理運営をします。	設備更新や修繕、文化事業の実施など、市内文化ホールを適切に管理運営し、市民の利用促進を図ります。	117,301	文化 スポーツ課
成果(取組)目標		・市内6施設の文化ホールを適切かつ有効に管理運営します。 ・3施設（長浜文化芸術会館・浅井文化ホール・木之本スティックホール）については指定管理者による管理とし、それぞれに大型の文化芸術事業も委託します。（湖北文化ホールの指定管理委託は市民まちづくりセンター管理運営事業）直営施設（びわ文化学習センター・虎姫文化ホール）についても、必要な舞台業務委託や設備点検、修繕等を実施します。			

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	12 スポーツ活動の推進

■具体的な施策

44 「する」スポーツの推進【文化スポーツ課】					
生涯にわたりスポーツに親しめるようライフステージに応じたスポーツ活動を推進するとともに、競技スポーツ選手の育成支援、スポーツ環境の整備を進めます。					
現状と課題		コロナ禍があげ活動制限がなくなり、スポーツイベントにおいても制限（参加人数や地域の限定等）がなくなり、日程や内容等は従前の規模で開催しているが、参加者数は回復していません。			
重点的に取り組む視点		市内の他、市外からも多くの方が参加しスポーツに親しむだけでなく市の魅力を発信する機会となるよう、参加意欲が高まる魅力的な内容の計画とし広く周知を行っていきます。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
スポーツ施設利用者数（学校開放事業除く）		530,239人	570,000人	560,000人	560,000人
全国規模大会開催数		4 件	5件	15件	15件
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
新規	スポーツ・健康まちづくり推進事業	運動無関心層に継続的に運動習慣を身に付け、スポーツが生活習慣の一部とし、スポーツ実施率の向上・定着につなげます。	市民が自らの意思で継続的な運動を習慣化できるよう、スポーツ・健康に結びつくプログラムを実施します。	10,300	文化 スポーツ課
成果(取組)目標		民間事業者や大学等との連携により効果的なプログラムを継続的に提供し、継続できる運動環境を整えます。 ・健康教室参加者数 150人			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	スポーツ施設維持管理修繕	安心安全な施設利用のため、施設の修繕を図ります。	山本山運動広場運動場グラウンド等改修工事や長浜市民庭球場パーゴラ屋根改修工事を行います。	83,100	文化 スポーツ課
成果(取組)目標		市内に33のスポーツ施設があり老朽化が進んでいる中、安全安心なスポーツ環境を提供するために優先順位を設定し順次整備を進めます。			

基本目標 (教育大綱)	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	12 スポーツ活動の推進

■具体的な施策

45 「みる」スポーツの推進【文化スポーツ課】					
令和7年に滋賀県で開催される予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会をスポーツ振興の絶好の機会としてとらえ、スポーツに対する関心を高め、子どもたちに夢や希望を与えられるよう大規模大会の誘致やトップアスリートと交流できる事業に取り組めます。					
現状と課題		2025わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会の開催を控えているが、充分な機運の醸成が出来ていない。			
重点的に取り組む視点		大規模な大会の観覧（応援）やトップアスリートとの交流など、体験の機会を提供することによりスポーツへの関心をより一層高め、夢や希望を抱くことができるような事業を実施していきます。			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
新規	キッズ健幸アンバサダー養成事業	子ども世代から運動事業の内容や効果を口コミ・SNSで伝達することで、市民の事業参加を促し、無関心層の更なる掘り起しを行います。	キッズ健幸アンバサダー養成事業参加者が事業の効果を広く外部へ訴え、健康の大切さや運動への関心惹起を促します。	1,001	文化 スポーツ課
成果(取組)目標		スポーツの楽しさや健康となる運動習慣を広めるキッズ健幸アンバサダーを養成します。 ・キッズ健幸アンバサダー:100人			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	国スポ・障スポ大会の推進	国スポ・障スポ大会及び関連大会を通じて、市民のスポーツへの関心を高め、活力あるまちづくりに繋がります。	2025わたSHIGA輝く国スポ・障スポ本大会及びリハーサル大会の円滑な運営を行います。	475,753	文化 スポーツ課
成果(取組)目標		スポーツ大会を通じ、スポーツへの関心を高め、市民のスポーツ競技人口拡大を図ります。			

46 「ささえる」スポーツの推進【文化スポーツ課】					
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の成功に向け組織体制の強化や指導者やボランティアの育成を図ります。また、地域スポーツを支える総合型地域スポーツクラブの活動やスポーツ活動に対する支援を行います。					
現状と課題		市内9地区の総合型地域スポーツクラブでは、スポーツ推進委員と協力しながら活動されており、国スポ・障スポ大会開催に向けて市民が一丸となった気運醸成のためスポーツの振興・普及を行う必要があります。			
重点的に取り組む視点		国スポ・障スポ大会に向け各種団体との連携を図るとともに、部活動の地域展開を見据えて地域スポーツ活動を支える人材や組織の育成を図ります。			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	各スポーツ団体への助成	スポーツ団体への助成を実施し、特に国スポ・障スポ大会の長浜市開催競技団体の組織強化を図ります。	スポーツ協会やスポーツ少年団への助成を実施します。	4,353	文化 スポーツ課
成果(取組)目標		市内スポーツ団体間の連携を図りながら、市民のニーズに応じたスポーツ活動の普及と環境づくりを推進します。 ・スポーツ少年団加入総数 2,000人以上 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率 65.0%以上			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	クラブの育成・支援を行うことで、地域の実情に応じたきめ細やかなスポーツ活動を推進します。	総合型地域スポーツクラブへの運営助成や連絡協議会の開催を支援します。	2,018	文化 スポーツ課
成果(取組)目標		子どもから高齢者まで幅広い世代でスポーツに親しみ、楽しめる地域スポーツの拠点づくりを推進します。 ・総合型地域スポーツクラブ:9団体 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率:65.0%以上			

基本目標 (教育大綱)	6 安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13 質の高い教育のための環境整備

■具体的な施策

47 誰もが安心して学べる学校・園施設等の整備【教育総務課】

学校・園施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習や生活の場です。安全・安心な教育環境を維持していくため、学校の適正配置を踏まえた上で施設の長寿命化改修を計画的に進めます。
また、インクルーシブ教育の理念に基づき全ての子どもが地域で教育を受ける機会を整えるため、エレベーターの設置等、施設のバリアフリー化にも継続して取り組みます。

現状と課題	市内の学校施設等の約4分の1が建築後40年を経過しており、長浜市学校施設等長寿命化計画に基づき施設の老朽化への対応を進めている。一方で子どもの人口減少が進んでおり、学校園の適正規模・適正配置の方針や財政状況を踏まえ、長寿命化計画の見直しを図り、将来を見据えた計画的な環境整備を実施する必要があります。
重点的に取り組む視点	適正規模・適正配置の方針を踏まえながら、学校施設の老朽部分の改修や機能を向上させる長寿命化改修工事を実施する。子どもたちの快適な教育環境を保障するため、照明のLED化や空調設備の改修を行います。

指 標 (進捗管理目標)	計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
小学校・中学校・義務教育学校のエレベーター設置割合	小学：52.2%	小学：52.2%	小学：60.0%	小学：60.0%
	中学：70.0%	中学：70.0%	中学：100.0%	中学：100.0%
	義教：100.0%	義教：100.0%	義教：100.0%	義教：100.0%
	合計：60.0%	合計：60.0%	合計：74.0%	合計：74.0%

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続 校舎（園舎）維持管理経費	全ての子どもが地域で教育を受ける機会を整えるため、施設のバリアフリー化等を進めます。	各校園に設置したエレベーターが正常に動作するよう、保守点検業務を委託し施設の安全管理に努めます。	14,573	教育総務課
成果(取組)目標	湖北中学校の長寿命化工事にあわせ、エレベーターの設置工事を進めます。			

事業名または取組名	目的	概要	予算 (千円)	担当課
拡充 学校施設等長寿命化改修事業	既存の学校・園施設を将来に渡り健全な状態で長く使い続けるため、老朽部分の改修や機能を向上させる長寿命化改修工事を実施します。	【長寿命化改修工事】 ・北中学校（東校舎/S50築） ・湖北中学校（南・中校舎/S50築） ・湖北中学校（北校舎/S51築） ・神照小学校（北校舎/S49築） ・浅井小学校（本館/S52築） ・西中学校体育館（S63築）	1,389,953	教育総務課
成果(取組)目標	校舎の長寿命化や安全性・耐久性の向上に向け、学校や関係機関との連携を図りながら改修工事を実施します。			

基本目標 (教育大綱)	6 安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13 質の高い教育のための環境整備

48 就学援助による経済的支援【教育指導課】	
経済的な理由により就学が困難な子どもに対して就学援助による経済的支援を行い、社会のセーフティネットとしての役割を担うとともに、子どもが安心して学習に取り組める環境づくりを推進します。	
現状と課題	入学前応援金受給申請は電子申請を導入しているが、就学援助費受給申請は紙申請での受付のため、保護者への負担軽減が課題となっています。
重点的に取り組む視点	今後予定されているシステム標準化に合わせ、申請手続きの電子化を進めます。

事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	要保護準要保護児童生徒援助事業	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を行うことにより義務教育の円滑な実施に資する。	対象となる児童・生徒の学用品費、学校給食費、修学旅行費(校外活動費)、新入学児童・生徒用学用品費等(入学前応援金)の一部を援助します。	76,137	教育指導課
成果(取組)目標		・義務教育の機会均等と円滑な実施を実現します。 ・入学前応援金電子申請率：70%以上			

事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	特別支援教育就学奨励事業	小・中・義務教育学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため必要な援助を行います。	対象となる児童・生徒の学用品費、学校給食費、修学旅行費(校外活動費)、新入学児童・生徒の学用品費等の一部を援助します。	6,643	教育指導課
成果(取組)目標		義務教育の機会均等と特別支援教育の普及奨励及び振興を実現します。			

基本目標 (教育大綱)	6 安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13 質の高い教育のための環境整備

49 教職員研修の充実【教育指導課（教育センター）】				
学校・園のニーズや今日的な課題を踏まえ、就学前教育から中学校教育までの連続的な学びに対応する研修体制を整えるとともに、各現場での主体的な研修を推進・支援していきます。また、それぞれの経験に応じた指導力や教育課題解決力を向上させる実践的な研修を推進し、保育力、授業力、指導力、マネジメント能力等、今求められている「教師力」を向上させる研修の充実に努めます。				
現状と課題	研教職員の研修参加人数は増加傾向にある。多様な学びを提供すべく、集合研修やオンライン研修、オンデマンド研修、アウトリーチ研修などを実施してきた。今後はさらにICTの効果的な活用を促進し、より探究的な研修を提供することにより、教職員の資質向上や学校組織の改善に取り組むことが求められます。			
重点的に取り組む視点	授業力、指導力、マネジメント能力、ICT活用能力等、今求められる「教師力」を向上させる研修の充実を目指す。また、新たな視点を得たり、充実した内容であったと参加者が感じられる質の高い研修の提供を目指します。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値
自主啓発研修・研究発表会等に、主体的に参加した教職員の人数		延べ773人	2,229人	2,000人
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)
継続	教職員研修事業	今日的な教育的課題解決や、学習指導要領の趣旨を実現するために、必要な教職員としての資質・指導力の向上を目指します。	「授業改善」「生徒指導、専門的分野、自己啓発研修」など、資質・指導力の向上につながる多様な研修の場を提供します。	1,090
成果(取組)目標		質の高い教育の実現のために、充実した研修を提供し、教職員の資質・指導力の向上を目指します。 研修充実度 97%以上		

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
中学校の教員は小学校の教員に比べて、学んだことの解釈や成果について、研究発表やレポートを提出する機会が少ないと感じている。中学校の教員の現状を考えれば多忙であることは承知しているが、自分が学んだことの解釈や成果を発信することで教員としての自信につながると思うため、中学校の教員が成果を発信する場が増えると良い。	令和5年度の研究テーマは、「園小接続事業（1年次）」「算数科（2年次）」の内容であったため、小学校が中心であった。しかし、令和6年度の研修テーマは、「園小接続事業（2年次）」と「国語科（1年次）」で、国語科は中学校も研究協力員として取り組んでいる。次年度は、「国語科（2年次）」と新たな研究を検討している。中学校の教員にとっても成果を発信する場となるようなテーマを設定したいと考えている。また、教育奨励事業において今年度より新たな部門等を設定した。小学校と比較すると少数ではあるが、今年度は中学校からの応募があった。今後さらなる中学校の教員の学びの場を積極的に発信します。
自主啓発研修・研究発表会等に、主体的に参加した教職員の人数について、熱心な教員は複数回にわたり受講されると思うため、延べ人数だけではなく、実数についても把握されると良い。	教職員の研修参加について、当センターが全教職員の実数を把握することは困難であると考え。教員は「研修と修養」に努めることは職務であり、各校で管理職が個々の研修受講については把握している。研修に関しては、受講者数のみならず、内容や受講形態等の工夫をしている。よりよい研修を目指し、受講後のアンケートでは、内容に対する「充実度」を確認している。令和6年度の研修平均結果は、97.53%であった。充実した研修を提供することは、教職員の研修に対する主体性にも影響を及ぼすと考え。今後もより良い研修の提供を目指し努めます。

基本目標 (教育大綱)	6 安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13 質の高い教育のための環境整備

50 教職員の働き方改革の推進【教育指導課】					
学校や園での教育は、教職員と子どもたちが人格的なふれあいを通じて行われるものであることから、教職員が心身の健康を保ち、ゆとりをもって子どもと向きあうことができるよう、業務量の適切な管理と教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置を行うよう努めます。					
現状と課題		DXの推進により業務改善を図っているが、特に年度初めや学期末に書類作成や成績処理等の業務が集中し、多くの時間を要する。（45時間以上の割合：小3.4％減、中1.4％増）また、関係機関や保護者との連絡調整に多くの時間を費やすため、業務の精査を行うこと、教職員一人ひとりのタイムマネジメント力をつける必要があります。			
重点的に取り組む視点		「学校における働き方改革」ロードマップを作成し、計画に基づき、具体的な施策を行います。（授業時数の適正化、業務のデジタル化、積極的な人的配置、職員の意識改革を図る研修会の実施等）			
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	教職員のワークライフバランスの取組の推進	「学校における働き方改革」ロードマップに基づき業務改善に取り組み、教職員の「ウェルビーイング」の向上を図る。	授業時数の適正化、業務のデジタル化、積極的な人的配置等、具体的な施策を行い、教職員の超過勤務時間により、その効果を測定する。	0	教育指導課
成果(取組)目標		教職員の1か月の超過勤務が、45時間以上の割合を前年比-3%になることを目指す。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	令和7年度の具体的な取組等
教職員の超過勤務時間の成果（実績）について、R4は80時間を超える超過勤務者の割合と前年度比について記載されているが、今年度、削除している理由を教えてください。	超過勤務時間「80時間超」の教員数は大きく減少、かつ、固定化しているため、取組成果を細かく分析することが困難になっている。基準を「45時間以上」とし、各種手立てに対する効果を検証していきます。

51 学校適正配置の協議・取組の推進【教育改革推進課】					
子どものための教育の質的充実、教育の機会均等及び水準確保における学校間格差の是正に向けて、外部関係者等を加えた学校適正配置検討会議等を設置して、保護者や地域等の意向を十分に踏まえながら、小中一貫教育校の導入を視野に入れた学校の適正配置の取組の検討を推進します。					
現状と課題		園児・児童・生徒数の減少に伴い学校の小規模化が進み、学校園間で保育・教育の質や水準に格差が生じる可能性があります。			
重点的に取り組む視点		長浜市学校園の適正規模・適正配置検討委員会の意見を生かして、長浜市学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針を策定します。 学校再編に向けて取り組んでいる地域については、保護者や地域の方との連携を重視して準備を進めます。			
指 標（進捗管理目標）		計画策定時	R6年度 実績見込み	R7年度 目標値	R7年度 計画目標値
本市において適正に配置されていると考える学校の割合		82.9%	82.9%	85.0%	85.0%
小中一貫教育により「学習指導」、「生徒指導」、「教職員の意識改革」に効果が認められたと回答した教職員の割合		70.8%	76.4%	76.9%	前年度比 +0.5%
事業名または取組名		目的	概要	予算 (千円)	担当課
継続	学校適正配置・小中一貫教育推進事業	教育の質的充実、教育の機会均等及び水準確保における学校間格差の是正を図ります。	長浜市学校園の適正規模・適正配置検討委員会の意見を生かして、長浜市学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針を策定します。 また、学校再編（学校適正配置・小中一貫教育）について、対象地域の保護者や地域住民との意見交換を十分に行いながら、子どもたちの教育環境の充実にに向けて検討する。すでに開校している学校については、学校運営や教育課程の課題や成果を検証します。	1,254	教育改革推進室
成果(取組)目標		子どもたちにとってよりよい教育環境づくり、魅力ある将来の学校づくりの視点から、学校の適正規模・適正配置及び小中一貫教育の推進を図る。			



長浜市教育委員会 X（旧 Twitter）ページで教育関係情報を発信しています。
右のQRコードからご覧いただけます。

